(年中無休刊)(日曜日翌日休刊) 大正七年六月三十日 THE KEIJO NIPPO (明治三十九年八月十日第三種郵便物認可) 第三千八百六十九號 (一)

京城日報

二十九日夕刊 (朝夕刊を併せて八頁)

發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 發行兼編輯人 小川 印刷人

○對聯合國出兵交渉

第二哈爾賓會議の決議條項はホルワット將軍に提出中なりしが廿四日將軍の署名を了したるを以て直に聯合國出兵に關し東京、巴里、羅馬、華盛頓、其他聯合國諸政府に向ひ打電し右交渉に着手せり(哈爾賓特電)

○セ隊長義勇兵募集

日本人も應募=帝國軍隊不干與

目下貝加爾州にて過激派軍と對抗しつゝあるセミヨノフ隊長は獨墺俘虜軍及び過激派の壓迫に依り其勢力漸く失墜し近頃滿洲地方にある外國人中より義勇兵を募集しつゝあるがセルビヤ人、ブリヤノト人、蒙古人、支那人、朝鮮人等の應募する者多く滿洲にある日本人中又之れに加はる者ある由なるも之等は帝國軍隊の全然干與する處に非ず彼等の自發的義勇心に基くものなりと(哈爾賓電報)

○國境開放と抗議

支那政府は東西二國境及び黑河の支那稅關開放に就き聯合各國の同意を得ず獨斷決行せし爲め哈爾賓駐在日、米、佛三國領事協議の上抗議を提出する筈なるが米國領事は政府の訓令無き爲同一行動を執るを得ずと申出でたりと(長春特電)

○墺軍包圍さる

墺國皇太子軍及びノオンヴルムス將軍麾下の軍隊は伊太利軍の爲め包圍せられ運命危殆に瀕せり(倫敦電報)

○獨逸食料問題險惡

獨逸に於ける食料問題の形勢は險惡となり市會は住民の食料殊に馬齡薯を保證すべき緊急手段を執らん事を要求せり(チーリヒ電報)

○支那議員選擧困難

總統選擧會組織不可能

江西督軍陳光遠氏は江西南部軍事行動の爲め國會議員選擧不可能なるを報じ來れるが之れ馮總統が長江派に手を廻せし爲め湖北、江蘇と同一行動を執れるものなり此結果議員選擧を爲さざる者十省に亘りたるを以て假令國會召集せらるゝも總統選擧會々たるは之れを組織する能はざる可く隨て段派の計畫は阻害せられつゝあり以上の形勢を看取せる徐樹錚氏は早くも國會召集後北京にて多數の兵を擁するの必要を認め五箇師團の兵を募集計畫中なるが右は非常なる疑惧を以て注目されつゝあり(北京特電)

○廣東討伐費交附

北京政府は龍濟光氏に對し廣東討伐費二百萬元を交附することに決定せり(北京電報)

○總督府警官服制決定

廿八日の閣議に於て朝鮮總督府警察官服制々定の件決定せり(東京特電)

○內地鮮米移入高

農商務省外米管理部が朝鮮米移入促進の計畫あるは既電の如くなるが同農產課の調査に據れば鮮米の移入は大正四年二百二萬石、二千二百二十一萬圓、同五年百十六萬石、千三百九十八萬圓なり(東京特電)

○二瓶領事通過

元齊々哈爾領事二瓶兵二氏は今回支那雲南領事に任命され赴任の途次廿九日朝釜山通過北行せり(釜山特電)

○片山日銀理事

日銀理事片山貞次郎氏は殖產銀行設立委員會列席の爲廿九日朝釜着直に十時半發列車にて京城へ向へり(釜山特電)

○大塚參事官通過

大塚參事官は廿九日朝釜山通過歸任せり(釜山特電)

○三殿下哀悼奏傳

李王李太王兩殿下並に李堈公殿下は久邇宮邦子女王殿下薨去被遊恐懼哀悼の至りに堪へず謹みて天機奉伺の旨傳奏方申出ありたるに就き政務總監は二十八日午後二時十分在京中の長谷川總督に宛て右執奏方依賴の電報を發したり

○總監晩餐會

山縣政務總監は七月一日午後七時より朝鮮殖產銀行設立委員十七名を朝鮮ホテルに招待し晩餐會を開く筈なるが宇佐美長官、河內山課長、野坂事務官等も出席すべし

○外米輸入內容

五月中旬以來農商務省外米管理部にて外米の朝鮮移入を計畫し指定商をして相當數量を釜山及び仁川に移入販賣せしむる事とし既に其手配を開始せる事は東電所報の如くなるが總督府と農商務省との間に於ける協議の大要左の如し

移入商は三井物產、鈴木商店及び湯淺商店にして釜山及び仁川に移入せしめ西貢二等白米倉渡百斤八圓三十錢見當にて販賣せしむ現物は七月中旬より輸送の見込なるが近日中先賣を開始す尙其の數量は賣行狀況及び朝鮮米の今後の市價等に依り決せらるべきが第一回移入は五百噸の豫定なり

○暴利取締令と朝鮮

內地に於ける暴利取締に關し朝鮮に於ても同樣の取締行はる可しと一般に觀測されつゝあるが目下の朝鮮經濟界に於て早急に取締令の發布を必要とせざるも何時如何なる變動を來すやも測られず當局に於て研究調査中なりしが既に之が成案を得萬一經濟狀態の如何によりて取締の必要を生せば何時にても該令を發布し得可き樣準備成り居れりと

○財界は警戒時代

兼二浦製鐵所=二度目の來鮮

岩崎小彌太男の車中談

三菱合資會社々長として帝國の財界に雄視する男爵岩崎小彌太氏の來鮮を京釜線の車中に迎ふ、顧問武田海軍機關中將三宅川三菱製鐵會社重役の諸氏を左右に控へし堂々たる

▲偉軀の男爵 は極めて平民的に語る、沈毅豪放の資質はその眉宇にも言句の間にも見られる『朝鮮は二度目ですよ、此前は大正三年の五月だつたと思ふ、初夏の季節を追うてやつて來た、恰度三菱の兼二浦製鐵所工事を始めて間もない頃でした、京城に夜着いて翌朝は既に京義線で兼二浦に向つたのです、當時の記憶は忘れつぼい私の事だからもう朦朧となつて今日釜山から見た沿線の狀態と比較すべきよすがにはならぬが兎に角半島の開拓は程條の速度で進んであるやうだ兼二浦の

▲製鐵所 も漸くその一部分を竣成したので視察に來たのです、その產鐵年額約十萬噸內五萬噸は兼二浦で鋼鐵にしたいと思つて目下その設備を急いでゐる、鋼鐵の五萬噸を全部長崎造船所用とするか否かはきめてはゐない、銑鐵の五萬噸と共に賣つたり使つたりする譯だ、兼二浦の製鐵所を一層擴張する計畫があるかと云ふに今の所考へてない、又兼二浦製鐵所の建設が甚だ多くの歲月を費したのは獨逸に賴んでゐた機械類が開戰と共に來なくなり、新に米國に註文を發したりなどした故で、それも亦鐵及び鐵器の

▲輸出禁止 及び制限に際會し結局氣は焦りながら足掛六年もかゝつた譯だつた、滿鐵の鞍山製鐵所は去年起工して明年製鐵を開始すると云ふ迅速さらしいがあれは御自分の沙河口工場で機械類の大部分を造られたからでせう、兼二浦には二泊位の豫定で、その後平壤に一寸行きたいと思つてゐる、再で京城に參るのは三日か四日かでせう、その上水原に行きたいが自動車は通じませうね、出來るなら京城から釜山まで自動車で突走りたいとも思ふが……よく話題に出る

▲戰爭の終期 と云ふ奴、先づ八卦見でない限り分りますまいよ、コレが分れば私等のやうな商賈人は占めたものだが、日本の財界ですか戰爭の永續と共に商潮時代は去り時局の思惑から警戒の念は各方面共持するやうになつたやうである、然し悲觀するには及ぶまいと思ふ

○所謂營林廠事件(三)

山縣生

次に齋藤氏が『少數の御商人を庇護して莫大の利益を與へ、多數の材木商を冷遇し、謂はゞ木材製造販賣者たる營林廠長の職責上依怙偏頗の不公平なる處置が甚だ多かつた』と謂ふ批難は頗る重大なるものである。これ實に公人私人としての名譽にかゝり、若し眞ならば其人の人格上の價値を零にするもので、如何なる人に對しても輕々に下すべき批難でない。然らば齋藤氏に與へられた此批難は如何なる程度迄事實に基いてゐるであらうか。

『眞相』記者の報ずる所に據れば齋藤氏は『從來の木材小賣販賣を弊害ありとし、大口取引に改めて新義州木材會社並に三井物產新義州出張所を指定契約を以て大口取引人と定め、標準價格より二割低減の特典を與へ、極力兩者を庇護し、他の木材業者を壓迫して木材販賣の成績を擧げることに腐心した』といふ。然るに余の調べて得たる事實は此言說の甚だ薄弱なる基礎の上に立つ事を證するのである。

齋藤氏が木材販賣の成績を擧げることに腐心したといふは事實である。抑も氏が大正四年四月、廠長として新義州に赴任した頃、營林廠の事業は當時の財界不振に伴うて沈衰の極度に陷つて居た。即ち生產品の不捌け甚しく、空しく倉庫に堆積し、前々年度の缺金は十六萬圓に達したるに、前年度のそれは僅に四萬五千圓に減退した。こゝに於て齋藤氏は鋭意生產品の販賣擴張を圖り、其目的に對し稍々の計畫を立てたるが、其中に大口取引制度が含まれた。此制度は大正四年九月制定されたもので、何人と雖も出願し得るのみならず、弘く公表され、大口取引者に對する二割低減は世に弘布されたる營林廠案內及び營林廠木材標準價格表に公開され、大口契約さへ締結すれば何人と雖も均霑し得る特典で決して三井物產と新木會社とに對し、特別に設けられたる規程でない。二會社共に此規程に基きて出願し、契約し、決して齋藤氏が指定契約したのではない。然るに實際に於て營林廠が此制度を設け、以て其生產品の販賣を擴張せんとし、之を公表し又勸誘したるに拘はらず、此特典に與らん事を希望したるは前記二會社を除き絕無であつて、此狀況は大正四年より六年に至る迄續いた、然るに今年に至り、新に三口の出願があつたが、營林廠は此時本府の命に依り大口取引の範圍を製材に限ることゝし、最も金額の多かるべき原木を除外することに制度を改めたる爲め、三口の後願者に許可を與へ、二口の後願者は生產品の餘裕なき爲め已むを得ず不許可となつたのである。即ち三井物產新木會社及び鈴木商店が許可を受けたのであるが、此等は決して寵商たる故に之を得たのではなく單に先願者なりしが故に此取扱を受くることとなり、不許可になつた二口の後願者たる安東の石崎商店と京城の大二商會とは、前記三者に許可の決定ありし後、即ち契約すべき餘力なきに至りし後出願せしが故に之を受くるを得なかつたのであるさうである。實際此等二商會は齋藤氏が營林廠長たりし間、盛に廢材の取引販賣をなし相當の利益を收めたので、繼子扱ひをされた等とは更に思つて居ないやうである。

次に大口取引人以外の多數木材商が壓迫を受ける事實があるや否やを調べて見たが、そのやうな形跡は何等看出し得なかつた。即ち從來の大口取引人たる三井物產及び新木會社は少數官廳よりの註文外は直接の買込をなす事を避け其拂下げたる廠林を一割乃至一割八分引にて多數木材商に賣渡し、此方法に由りて彼等も亦相當利益を收めたのである。之を要するに大口取引人に與へられたる特典は規定に明記しあり何人も均霑し得るもので『眞相』記者の謂ふ如く少數の御商人が齋藤氏の庇護によりて莫大の利益を得たといふ事實は少しも無いのである。

○二部長會議(第三日)

第二部長會議第三日は二十九日午前八時より總督府第二會議室に於て開會午前中は稅務打合あり午後は政務の打合せあり同四時散會せり

○殖銀內地側委員

朝鮮殖產銀行第一回設立委員會に出席す可き內地側委員森大藏省銀行局長は事務の都合に依り來鮮せざる事となれるが日本銀行理事片山貞次郎氏は內地側委員を代表して出席す可く廿九日午後九時南大門着列車にて入京す可し

○學校組合認可

平南江西郡江西面德興里常田憲榮より申請中なりし江西學校組合設置の件は六月廿六日附を以て許可されたり

○臺北視察團日程

臺北公立高等女學校長吉澤邦喜氏を團長とせる臺北視察團十五名は二十九日午後七時四十分入京日程如左

▲三十日 商品陳列館、昌德宮博物館動物園、景福宮博物館、普通學校▲一日 總督府、高等普通學校▲二日 於義洞公立普通學校、京城中學校、附屬小學校、普成專門學校、高等普通學校、工業專門學校▲三日 日出幼稚園、女子高等普通學校、醫學公立普通學校、同附屬普通學校 私立培材高等普通學校

○大連財界の恐慌

野積貨物保險解除と金融杜絕

大連埠頭に於ける大豆豆粕の堆貨より怪火頻發するため關係火災保險會社十五社は二十七日東京に於て會議を開き商法の正條に準據し野積貨物保險解除を斷行する事となりし結果倉庫に藏置せる以外の野積保管貨物は今後既保險契約期の滿了に伴ひ無保險となりたるため同地財界の混亂恐慌著しき事は大連特電の如し目下の滯貨は大豆粕合計約四十萬噸にして內野積は二十萬噸强ならんと

▼銀行の對策 大田理事談

火災保險會社が大連の野積み滯貨に對し危險なりとの理由により保險の解除をなせしは事實なり又た滿鐵が

▲野積保管貨物 の危險を荷主に通報したるも事實ならん之等の事實は大豆並に豆粕を以て立つ大連財界未曾有の大事件にして多年同地の實業家並に銀行家の努力により國際的商品として地位を高め取引の膨脹著しき特產物にとりては非常の痛恨事と云ふべし銀行としては何等か首肯するに足る對應策が滿鐵若くば他の方面により講ぜられざる限り無保險貨物に對する新貸出しは絕對に之れを拒絕する外なし從つて既に保險の附しある野積貨物の滿了期……多分一箇月待たずに更新せりと記憶す……に際會し保險會社が保險を附せざれば該特產に對する貸出し金は回收に努むる外なき也唯一時に

▲融通資金 の引上げをなす事は到底不可能なるべくそこに何等か緩和手段を執る必要もある譯にて鮮銀は夫々相當の處置をとりつゝあり要するにいかなる方法かにより滯貨の火災防備を嚴にせざれば大連貿易の死活問題たるべし又かゝる危險に際せる事とて奧地よりの廻著は絕無とならん何ほ火の原因は種々の臆說を生めるも予は商略上の關係よりする不德漢の放火なるべしと信ず

▼朝鮮影響奈何

井上鮮銀營業課長は曰く到底此儘にて經過せば大連貿易上の大問題に付滿鐵にて恐らく何等かの對應策を講せらるべき乎、該問題の朝鮮に及ぼす影響如何と曰に多分大した事はなからん、唯在鮮商人中の某々有力者にして大連より仕向地に積出すため同地埠頭に豆若くは豆粕の野積みをなしつゝある分並に奧地より大連經由發送の手配をなし居れる向二三あるやなるが之等の諸氏は若干痛手を受くべきも大體に於て憂ふべき程ならざらん

▼特產暴落せん

大連埠頭野積貨物の保險解除は金融の杜絕を意味するに付自然現物投物の續出を見るべく且つ最盛需要期を經過せしに付大豆豆粕相場の暴落は免れ難からんと思惟す既に二十八日大連特產取引所にては大連商業の先物取引を停止したるが最近取引所の相場は此の危險を豫想せるものか又某大商店の買占め吊上げ反動か漸落歩調を辿り居れり乃ち數日の先物出來値を見るに左の如し

▲大豆 二十二日三圓四十錢、二十四日三圓三十四錢、二十六日三圓十四錢、二十七日三圓四十八錢

▲豆粕 二十二日一圓十二錢、二十四日一圓〇九錢、二十六日一圓〇三錢、二十七日一圓〇四錢、二十八日一圓〇二錢

二十八日の中限は九十六錢の安値を現はし居れり

○內地事業界の概觀

米山東拓庶務課長談

(內地事業界の狀況を視察し此程歸京せし米山東拓庶務課長は曰く)

時局の影響を受け內地事業界が著しく發展したと云ふ事は筆に口に汎く傳へられてゐるが實地に各方面を視察して見ると事實は豫想以上である、紡績製紙造船業等各

▲大資本 大組織の會社を歷訪しその主腦者の曰ふ所を聞くに先づ戰爭が今日バタリと止んで終つても以後三年內外の間は現在と餘り差異のない好況を持續して行けるだらうと云ふ觀測が略一致せるやうである、その理由は戰後列強は第一著に內政問題乃ち財政の整理を急とするから到底實業家もその手を世界的に伸ばす事は困難だらうと云ふにある、然らば三年內外を經過した後は如何であるかと云ふに各大會社共その後を見込んで著しい利益中巨額の各種積立を爲し戰後來るべき反動時代に處せんとしつゝあるのと、それから日本國力の伸張並に

▲財界の發展 は平和來後の世界商戰場裡に立つて必らずしも敗けをとるまいと云ふ觀察で素より現狀並に戰後數年間の如く收益の日覺しい成績は擧げ得られぬだらうが相當の維持は出來得べしと樂觀してゐる然し乍ら事業の亂興は若干弱味のある企業を少からず生んでゐるやうで、殊に大阪地方の如き時局を當て込んだ小企業が可なりあり、それらは戰爭中に儲けよう〳〵と焦慮つてゐるやうだ、此種の事業は戰後反動時期までに合同して基礎を固めるか組織を改めるかせないとその存續は

▲幾分悲觀 されてゐるやうに聞いた、更に最近生れてゐる事業は必らずしも有望健全なのばかりとは云へぬらしく中には形ばかり名ばかりと云ふのも稀にはあるやうである、何故ならばから鐵類が殆ど手に入らない時に於て機械を內地で求めるにせよ非常に高くつく、又之れを米國に註文しようとしても一のボイラーでさへ非常な輸出を特許して呉れぬのであるから事業の進めやうがない、假令機械を得ても非常に多額の資金が固定するため戰後諸物價の平調に歸する時が來ると會社の狀態がどうなるか俄かに斷じ難いものがある、倘ほ最近大規模の事業で困つてゐるのは米國政府の

▲銅價公定 による銅價の下落が生んだ各製銅會社並に主として生產過剩輸出不引合等の結果價格の低落した亞鉛製煉の會社である、銅の如き古川久原等の大會社は餘程手持品もあるらしい、然し銅の需要と云ふものは戰時中から戰後に亙り一層殖ゑるであらうと思はれるもので米國銅價公定期限の滿了も八月幾日かでその後どう變るか、變りやう一つで又復活況を呈するだらうと觀てゐる人があつた

○二部長府尹招待

七月一日午後七時より總督府及び所屬官署在京高等官有志は入京中なる各道第二部長及び府尹を招待し晩餐會を催ほすべし

人事消息

▲永井榮藏氏(大阪朝日記者) 廿九日夜入京不知火へ投宿の筈

▲中村京城覆審法院檢事長 部內視察の爲め七月一日より天安、洪城、瑞山へ出張の筈

▲後藤瑞巖師(臨濟宗妙心寺派布教監督) 鮮地方巡錫より二十九日夜歸山

▲三浦大尉(憲兵隊司令部副官) 十日間の豫定にて二十九日朝郷里山口縣へ歸省

茶前酒後

贈服部江南詞兄 大垣 金陵

雨後南山嵐翠新。蒲城時未絕紅塵。老來已擲功名念。欲訪風流脫俗人。

答大垣金陵詞兄 服部 江南

醉裡放翁詩句新。一觴一咏洗京塵。榴花燕子輕明日。欲出俗塵隨雅人。

○獨外相は大戰は來年も尙終熄の見込無しと云ふ聯軍も無論其決心也

○墺勃將に倒れんとし露の獨勢力も失墜す尙戰を續くるの元氣ありや否

○實力に窮して尙大言壯言する獨逸は益々奸計を弄せん大に要戒

○獨逸或は聯軍の爲に破られざるも國內より自爆せん壯言も空力哉

○然も忌憚なく云ば聯軍亦困しからざるに非ず要は持久の根比べ也

○露廢帝殺害說あるも活殺自在の今日の露國故に猥に信せられず

○若此說眞なりとせば廢帝は近世紀中最悲慘の人也御同情に不堪

○支那は七月十二日を國家的記念日と定む同日は張勳復辟失敗日也

○復辟破壞の記念か復辟萌芽の記念か兎に角張勳亦佳榮ありと可謂

○而も此記念日設定の半面には張勳特赦の野と復辟運動擡頭は奇妙也

○袁世凱の忌日は國定祭日となり墓は袁公林となり梟雄忽化王公

○總統選擧近く南北未爭を止ず共此の舉あり實際支那の事は不可測

○然も熟〻裏面を觀察せよ其處に首肯する處多々あるは卽大芝居也

○滿洲では大連の豆火事に騷ぎ豆粕に喧嘩の花咲き火花を散す物騷

○內地には坊主の紛擾小娘の强盜先生の心中汽車脫線等の續出あり

○加ふに貧民に物價騰貴の苦痛は依然骨董成金の社會流毒喧囂陶醉歟

汽車時間表 十一月一日發行

國賓殿下御告別

廿八日參內＝豐明殿裡御別宴を擧げらる

◇國母陛下と御握手御別れの御挨拶

コンノート殿下には二十九日午後御退京に就き廿八日御告別の爲め參內あり廿日殿下には隨員を隨へ午後零時霞ヶ關離宮御出門二重橋正門より參進御車寄階上に天皇陛下の御出迎を受けさせられ宮城鳳の間に進まれ、此處にて皇后陛下の御出迎を受けさせられ伏見、閑院、東伏見各宮殿下と御對面御物語あり亞いで陛下には殿下と共に戶田式部長官の御先導にて千種間を經て豐明殿に進御、松方內大臣、寺內首相、英國大使グリーン氏同夫人、波多野宮相其他數十名の文武高官に御陪食仰せ付られ午餐の食卓に就かせられ式部職の奏樂雍々たる中に陛下には殿下と御歡談を交へさせ給ひ御終宴の後コ殿下には皇后陛下と御握手の上懇懃に御告別の御挨拶あり御車寄迄天皇陛下の御見送を受けさせられ宮城御退出歸邸遊ばされたり（東京特電）

▼霞ヶ關行幸

御告別の辭を交換あらせらる

天皇陛下には二十八日午後三時四十五分宮城御出門式外國御馬車にて霞ヶ關離宮に行幸あり コンノート殿下を御訪問離宮大廣間にて御告別の辭を御交換あらせられ御握手の御交換あり コンノート殿下御見送の中に御機嫌麗しく還幸あらせられたり（東京特電）

長崎京城間を飛ばん

大阪に飛機製作所を設けたる櫛引氏

櫛引弓人氏（先にスミス氏飛行に支配人として來鮮せる）は大阪築港に飛行機製作所を設け尚ほ事業の第一著手として八月中旬東京大阪間、大阪長崎間、長崎京城間の長距離飛行を爲す由（大阪特電）

◆洸子殿下薨去發表

久邇宮王女洸子殿下薨去の事廿七日午後三時四十分御發表あり前後して王子王女を喪はせ給ひし兩親宮の御胸中拜察し御慰め申上ぐるものなし（東京特電）

苦力誘拐

三菱鐵山にて

◇漸くつかまへた話

兼二浦三菱製鐵所事業の進捗に伴れ昨年來一萬人以上の支那苦力を鐵山及び工場で雇入れたるが彼等苦力は最初納負業者の募集に應じて旅費食料の支給を受けて入り込みたるものなるが近時諸方に新事業勃興して人夫の不足其の極度に達したる結果隨所に勞働者の爭奪行はれ現に過日來三菱鐵山松永洋行配下苦力及び兼二浦組配下苦力並に服部組配下苦力等毎日十名乃至二十名宛逃走するにぞ各請負業者に於ては必定

▽誘拐 者が入込み居るものと苦力頭に命じて嚴重に調査せし處六月二十六日午後五時頃一名の苦力頭らしき支那人鐵山に現はれ人夫等と何か密かに話し込み居れるにぞ之を見たる二十五六名の大小苦力頭は手に〳〵

▽棍棒 を携へ件の怪しき支那人を取押へんとし逃ぐるを追ひて新市街にて引捕へ折柄巡邏中の西村上等兵に引渡し兼二浦駐在所に於て高等警察が調べたるに此男は龍什生れ當時黄海道載寧郡銀山面なる三菱鐵山に働く栗といふ者にて同人の實弟が目下大田に於て大田組の苦力頭をなし居り同人より人夫の蒐集方を依囑せられたるため數日前より彼等を誘拐し居たる者なりと云ふ（兼二浦）

◆廿八日夜入京の岩崎男一行 ＝中央岩崎小彌太男、右武…、後方左三宅川三菱製鐵社中役

奈良選擧違反

久保氏收監 卅四名罰金

奈良縣選擧違反事件の中村準策氏の參謀久保一郎外一名收監され尚三十四名略式命令にて三十圓以上百圓以下の罰金刑に處せられたり（大阪特電）

叶の毒藥自殺

新町蜉蝣樓の娼妓 未遂…原因ヒステリーか

京城新町遊廓蜉蝣樓事阿部德太郎方の抱娼妓叶事小手川ツメ（二十）は廿九日午前一時四十分頃同樓二階の座敷の居室にて洗滌用リゾール百瓦ばかりを仰ぎて自殺を企て目下新町病院に入院加療中なるが頗る

▼▲重態 なりと同人は例の如く一時半頃まで眼店したるが他の娼妓には皆客筋あり同人のみ淋しく一人居殘りゐたるものなるが前記の時刻頃突然二階の居室に至りてリゾールを仰ぎ其の儘降り來りて居の室にて苦悶を初めたる際居合はせたる仲居が發見して

▼▲大騷 ぎをなし新町病院より杉原醫師を迎へて應急手當を加へたり、同人は昨年中同樓に初めて抱へられしが常に客足少く時々大酒を呷りて暴言を吐き樓主を困らせゐたりしが遂にヒステリーに罹り最近他に

▼▲教唆 せんとも其の旨を鄕里なる島根縣美濃郡匹見下村の實父に照會せしも肯き入れられず其の結果無分別の自殺を企てしものならんと

幕內出揃ひの朝稽古

鳳倒れ千葉敗れる盛な申合ひ 元氣揃ひの五分相撲の面白味

前日雨で一日休んだことゝて力士一同元氣橫溢、朝の內まだ降るとも晴れるとも知れない空を氣遣ひながら逸早く稽古場に姿を見せたのは東西を通じて一番乗り

◆稽古熱心 との評のある鳳、初日生な角力通を振り廻して惡罵閙笑した半可通がこれを見たら頭を抱へて逃げ出すだらうと思はれた、續いて大潮、千葉ケ崎、琴ケ浦、錦島、藤ノ川、三杉磯、大戸平、玉ノ川、大岬、白岩などが續々とやつて來て二十九日二日目の稽古土俵は素敵に賑はつた、初日の通り幕下の元氣者鶴ノ海、一ノ島、小田ノ山、眞砂岩十兩の大岬、若葉山などが

◆入り替り 立ち替り、若手の烈しいところを見せたあとへ琴ケ浦が飛び出して能代、小川、一の島、眞砂などの元氣な連中が砲玉のやうに打突つて來るを盛んな馬力を出して片ツ端から捻り倒め仕し、寄出しなどで若武者を立ち難ぎ仕して幕の內の威力を示したあとへ鳳と千葉ケ崎が現はれて申し合ふ、最初は右四ツで寄り合ひ、鳳が借りに行くを千葉が突きつけながら

◆下手投を 打つて勝ち、二番目には前同樣右四ツ千葉が下手投げを打つて寄るを鳳が早くも手を拔いて右上手を引き大きく上手投げを打てば美事に極まつて三十一貫の千葉の巨軀が地響き打つて土俵に轉がる三番目には千葉が左差しを勝手惡しと右に捲きかへようとする時鳳の打つた下手投極まつて勝ちは双方共元氣だ、鳳に代つて大潮が千葉に立ち向ひ突いて〳〵

◆突き捲る を逃げ身に肝き込んで極まる、それから藤ノ川を引き落して土俵に這はせ、「二丁」と飛び出して來てい、所を立つて千葉を土俵際まで寄詰めた爲め殘されて極め仕された、斯くて千葉ケ崎無人の境を行くの概があつたが藤ノ川が出て浴せ仕す、すると大潮が出て藤ノ川を卯き込み、三杉磯を突張つて即く『宛で駒だな』と言ひながら代つて出た錦島の左手を引きかけて引き落す、と今度は

◆千葉ケ崎 が出て大潮を寄り倒し、三杉を押倒し錦島を浴びせかけたが新手の大戸平が出て渡し込む、大潮が向つたが矢張り落せ倒される、其處へ鳳が出て仕切りそれから更に盛んに申合ひがあつて面白い勝負が見られた此の中で千葉を大潮が吊りに行つて殘され千葉が劍ノ峰に堪へるところを外掛けに浴せ倒して首級を擧げたなどは大相撲であつた、十二時頃

◆申合ひが 終ると互ひに胸を貸し合つて痛快なるところを見せたが何れも元氣揃ひの五分々々の連中だから總率めどころか五人と拔くものは無く實に目覺しいものだつた

◇鳳千葉ケ崎の申合ひ（二日目）

▼大相撲

＝二日目＝ 土曜日の盛況 ◇團體見物多數

東京大相撲二日目なる二十九日は朝來雨模樣にて天候を氣遣はれしも幸ひに降雨なく開場したるが土曜日のこととて人氣盛んにしてサッポロビール大潮や援會その他團體見物多數ありたり

▲千葉縣人會總見 京城在住の千葉縣人會にては來る三十日同縣出身の鳳、千葉ケ崎のため約百名の總見ある由

▲靖洲將軍と大潮 立花師團長は大潮が柳川出身なるより京城興行中は大いに後援せんとしたるも十九日より西鮮地方出張に就き大潮に左の一詩を寄せて激勵したり

雪龍一去迹茫々、豪勇久無爭輕贏、忽有大潮飜海出、鎭西又見躍長鯨

▼三日目取組

眞砂岩（能代潟）福知山（淺ノ山）
大淀（小川ノ山）若葉山（玉ノ川）
小牛田山（白岩）
鶴ノ海（大岬）
琴ケ浦（錦島）大潮
藤ノ川（大戸平）千葉ケ崎
鳳（三杉磯）

▲本社寄贈外お好み
三杉磯 琴ケ浦

同決勝五人拔

東	西
大岬	白岩
能代潟	小牛田山
若葉山	鶴ノ海
小川ノ山	大淀
眞砂岩	一ノ島

お伽巡禮（三）

論山と公州

涙光生

◇午前九時半出發、身體の具合が惡いからか夜中安眠されなかつたので惡夢にのみ苦しめられた、學校組合管理者たる六角氏の來訪を受く、十時、兒童小學校長、山本照道諸氏に送られて小學校へ行けば論山校の兒童が校長と共に來られて參會して居る父兄の方も少々見えてゐた、校長の紹介で例に依つて三席の話をしたが思ふやうに聲が湧いて來ない、普通校の生徒も今までにない理解が惡かつたやうである

◇會果て、別室に於て石志誌氏と語つて居ると一時となる、[illegible]…三時二十分公州に向ふべく、富村管理者、兒島小學校長、…に送られて自動車に乗つた…[illegible]

…[illegible]…に歸る

連絡船不著

濃霧の爲め

廿八日夜入港す可き對馬丸は濃霧の爲め同夜十二時迄入港せず同十一時半急行は貨客の聯絡を爲さず北行せり（釜山特電）

債券業者へ訓示

債券の月賦販賣に對しては朝鮮にても相當取締る旨警務總監部より內訓發布されしよし京城本町警察署管內の營業者全部を二十九日朝同署に召集して小木田署長より訓示する所ありたり因みに京城府內に於ける同營業者は全部にて三十餘名ありと

讀者文藝（一等には五十錢二等には相當の賞品を呈す）

▲川柳【酉】

◎雅な人が貴で嚙み殺す大度胸 ［二等］ 京 權藤 蘭坊

…[illegible]… 久 流美

▲可笑しくも無いに今晩が笑ひ出し …[illegible]… 居子

▲燈の前で娼が惚れ立ての話 …[illegible]…

▲婚禮はお仲人半ばに同じて寄り …[illegible]…

▲親不幸商の滿足な筈はなし 京城 山梨 生

▲ごうせ出る妾で商にしてしまふ 利川 福井 幸子

▲借錢酒屋町の小間反物なり 龍山 思葉

灯ともし頃

▲龍山中學で白耀衞門を聘した力士大戸平の談話しによると一西洋人は日本人を一概に小さなものとばかり思つてゐるので先年太刀山一行が布哇に渡つた際は非常に驚いた▲そしてアレは除り互きいから日本人ぢやない髮を結つてゐるから多分朝鮮人だらうイヤ朝鮮人が日本人に化けて來たんだと到頭人を化物にして仕舞つた▲そこで一行グッと得意になり結髮に洋服と云ふ珍妙な姿で公園やら目貫の通りを濶歩したが上には上があるもので彼方には五尺八寸の自分が仰向かねばならぬやうな大男は箒で掃き捨てる程ある▲ソレで今度は吾々の方が反對に悔りして仕舞ひイヤハヤとの化物奴が

商況

東京期米特電

兵庫期米

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

[illegible]

雜報

鮮期米安と新甫

…[illegible]…

新甫內氣配

…[illegible]…居るの時に際し新甫の大下鞘…[illegible]…

正米依然不動

…[illegible]…

唱へつゝあるが…逆に高値を…[illegible]…

▲二十九日前場（暴落）

仁川期米

…[illegible]…先二十二圓…六十錢と六錢安…寄付…[illegible]…

南大門の廻穀

仁川正米

穀物市場（廿八日）

…[illegible]…

下關相場

日本も變らず

石油は强硬

引續き持合

大阪の大崩

二十五錢より大暴落

落移に賣物多く更に

一六激戰を演出

會毎殆んど無數に現

今の賣直し立

玉力筋の賣り玉數

無慮十一萬石以上に上

▲期米暴落す

兩玉力筋の間に

大解合成立

更に解合成立

投げ招致

市場雜觀

達な生 三千百五十石

三千百五十石の相

居との間に大解合成

立てる人氣激變

新安値に暴落

仁川米豆取引所

二十九日の八月限

…[illegible]…

北濱たより

…[illegible]…

小賣白米

現金賣	
一等白米	二十八錢五厘
二等白米	二十八錢

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川濱町三丁目 電話長七番

神社と教會

…[illegible]…

南浦の俄分限 三菱社員の喜

…[illegible]…

讀者文藝課題及び募集規定

…[illegible]…

□募集規定 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事▲一等に五十錢街券を呈す▲…[illegible]…

天氣 曇 …[illegible]…

京日紙上お伽講演

◎[illegible]世界の集會　六月二十九日（土）午後九時半[illegible]
[國際と京城]
六月三十日（日）午前九時
報恩行デー[少年少女の務め]　石島少校
同午後九時永樂町鮮內

六月三十日日曜日午後[illegible]　[聞に對して眠る勿れ]　[illegible]牧師
○日曜說敎（本町）二丁目日本メソヂスト
京城敎會
午前十時　題未定（[illegible]）　中村牧師
午後八時『迷へる羊』

衞生お伽 チブスと蠅助

龍山　淚光

柳の糸がだん〳〵長くなつて、燕の往來も追々繁くなるといふ時候が進んで來ますと、もう暑くつてとてもセルなんか著てはゐられなくなりました、茶目子さんはこの間お母さんから新調して頂いた派手な友禪の單衣に著替へさせてもらつて、これも新らしい絲のモスリンの帶をしめて貰つて嬉しくてたまらないのでハネを續けて居りますと、お庭のお池の向ふで蛙が鳴いてゐるのを聞きつけて取りたくつてとりたくつてたまりませんので、庭下駄を小さい足につゝかけて駈け出したまではよかつたがあまり下駄が大きいのでお池の傍の大きな石につまづいて、アッと思ふひまもなく去年の夏からまだちつとも水のかはつてゐないお池の中へドブーン、せつかくの新調の著物も汚れに汚れて臺無しになりました、茶目子さんは獨特の大聲でベソをかいて泣き立てます、母屋でお針をしてゐらしつたお母樣はびつくりして駈け著けて御覽なさると、マア茶目子さんは頭から泥まぶれになつたまゝお池の中でアヒルが泳いでゐるやうな風をして泣き立てゝ居りますので、大急ぎで下女のお松を呼び立てゝやつと命には別條なくドジャウ死をせないで濟みましたがその夜から茶目ちやん、大變なお熱が出て病氣に取付かれてしまひました、八疊のお室へ床をのべてお醫師樣の仰せの通り、なるべく身體を動かさないやうにとお母さんが看病していらつしやいますが、一寸御用でお立ちになると『お池の馬鹿、馬鹿』と庭のお池を睨めつけてどなり付けますが自分で自分が轉んだからお池は知らん顏して時々蛙が暑さに疲れたやうな聲でグヾヾ〳〵と鳴いて居るばかりであります。處が近來茶目さんのお家のある京城市內ではパラチブスと云ふ惡い病氣が大變流行して六月に入つてからでも百數十名と云ふ澤山な患者が出來ましたのでみんな恐れて十分用心をして居ります、お祖父さんは若し茶目子もパラチブスにでもなりはせないだらうかと心配して今朝からお醫師樣の處へおたづねしてお留守でありますから、先づ困つたのは茶目さんのおうちに住んで居る蠅助等の御連中です

それはお祖父さんがお留守ではチンカ頭でスケートをする事が出來ません、ところがこの蠅助の惡戲でパラチブスなんか多くおこるのでありますからよほど注意せなければなりませんが、今しもスケートは出來ず臭い物には皆蓋をせられて空腹をおさへながらやつて來たのが茶目子さんの病室でありました、見ると茶目さんは昨夜熱のためによく眠れなかつたのでスヤ〳〵と眠つて居ります、お母さんはこの間にとお臺處へいつてお仕舞をしていらつしやいます、誰もいないのだから蠅助、何かおいしい物でもないかと見廻しますと枕元のお盆の上には藥瓶とならべて水飴の瓶が置いてあります、茶目さんが、さつき食べた時に蓋をするのを忘れてゐましたので、瓶にはひ上つてペロペロッとなめてみた蠅助は狂言の眞似をして『おやこれは甘いものがごじやる

一人でなめるも勿體ない、どれどれ連中を呼んで參らうずる』と急ぎ足で出て參りました『やあこれはこれは蠅吉蠅作蠅三郎、今朝から何にもありつかぬに依つて、茶目子孃のお室の飴を盜まうと存ずる、さあ〳〵お出やれ〳〵、しかし參る程に此處らあたりに人は居らぬがお氣をつけてごじやれ……』と云ひながら飴の瓶に昇り行き中に入つて、なめる程に食ふ程に、『やあ、これは美味いそれから一人ではなめつくせない、小悴にもなめさせやうと存ずる』『やゝ、これはいかなる事、それがしの身體は重うて〳〵動けぬぞ、誰ぞ助けてくりやれ、うわあ、足が一本とれた、羽も動かなくなつて取れ申さぬ』と、もがいて居るうちにとう〳〵息が苦しくなつて蠅助も蠅吉も蠅三郎も死んで仕舞ひました　そこへお祖父さんがお醫師樣から歸つて來て『サア、これだ〳〵蠅が一番パラチブスその他の惡い病の仇だと今お醫師樣が被仰つた、この飴はもう捨てゝ仕まはねばいけない』といつて川へ持つて行つて流してしまひました、そこで茶目子さんの病氣もチブスまでにはならないでその翌日は快くなりましたとさ

◇游泳術◇

（七）　神傳流師範　林　茂敏

溺死を免かるゝ法

【水に落ちたる時】人過つて水中に墜落する事あり或ひは舟の轉覆等の難に遭遇したる時如何にせば比較的安全なるや此の場合に於ては水中に墜落して勉めて呼吸せんと欲する念を起さず頗る沈著を保ち直ちに帶を解き衣服を脫すべく墜落して水中に沈入するも決して恐怖するに及ばず人は一度水中に入るも一丈許りの深さ迄沒入すれば再び浮上し衣服中に存する空氣の浮游力によりて再び沈まざるものなり故に衣服を脫するの餘裕は自ら存するものなり衣服を脫し終らば又靜かに

【水中に身を委せ】聊かも狂騷する勿く身體に附著せる靴或は草鞋等の如きものをも取り去るべし縱令如何に游泳に巧みなる者も衣服を著し居る時は手足に纒ひて動作を碍ぐるは云ふ迄もなし但し襯衣は著し居るも支障を生ぜざるものなり又游泳中に於て萬一水褌の弛み解けて足に纒附く等の事ある時も前記の如く沈著に水中に沈入するも少しも恐るゝ事なく自然に身を任せて之を取り去る事に勉むるを要す

【痙攣したるとき】水泳中には往々にして手足に痙攣を發する事あり其の發作の原因は手足の甚だしく疲勞し居たる時或ひは久しく働かざる手足を急に激動せしむる時手足の動作自然に逆らひたる時又は身體甚だしく冷却したる時及び脚氣病者其他飲酒又は暴食したる後に游泳する等の場合に起り易く水泳に堪能なる者の往々にして溺死する事あるは此の痙攣の發作に因るもの多しとす

【痙攣を豫防する】には手足の動作を徐々に馴らし決して最初より急激の運動を強いざると寒冷に堪へ難きの法を爲すの外之が豫防は困難なりとす若し游泳中手に痙攣を發したる時は背泳を爲し兩手を胸の上に屈して痛處を揉み兩足の動作によりて陸地に向ふべし又足に痙攣起りたる時は直ちに泳ぎを中止し靜かに身體を水中に靜め假りに右足に痙攣を發したりとすれば右足の膝を屈し右足の拇指を左り手の五指を以て上より握り左方上下に之を屈伸すべし而して此の間水中に沈入せるを以て呼吸切迫せば直ちに手を放ちて水面上に頭を出だし呼吸を繼ぎたる上又水中に沈むに任せて前同樣拇指の屈伸を繰り返すべし斯の如くする事數回に及べば全く痛みを治するを得べく此の場合直ちに上陸を爲すを必要とす而して一度起りたる手足の痙攣は再發し易く遂ひには習慣となるものなるを以て四五時間乃至一日位の間は游泳を禁じて再發を防がざるべからず

◆思ひ掛けない異變で◆景氣が[illegible]立つ　兼二浦三菱製鐵所に於[illegible]去る二十五日社員以下傭人一[illegible]に對し臨[illegible]も大概月給の◆二三四月分と云ふ見當ははづれない處だらう之れが爲め兼二浦市中は一層景氣がよくなり吳服

◎連絡船上陸客　廿八日午前入港高麗丸（一等二十一名）高木陸平、坪井[illegible]、[illegible]、內田直[illegible]、駒夫、田島鶴吉、岡小春、白鳥丈太郎[illegible]
川瀨[illegible]、野村[illegible]、宮野[illegible]、[illegible]、武谷みつ、古川れい、岡あさ、岡勝之[illegible]、[illegible]田久[illegible]、日野[illegible]、村田思良、[illegible]原正吉（三等百九十一名）

京都疑獄（三）

◇兩川改修問題◇

竹野、上桂兩川改修問題は京都府會郡部會多年の宿題なりしが當時の財政は災害復舊工事の爲め發行せる公債二十萬圓に近き金額を歳々償還せざるべからざる行詰りの狀態なりしより容易に之れが改修工事を爲し得ざりしが恰も大正四年度を以つて皆濟するに至りしより此處に漸々該問題は提唱され大正四年度の通常府會郡部會に於て五年度より六箇年間大正十年度に至る迄繼續事業として上桂川は二十四萬六千七百五十六圓竹野川は二十四萬三千四百二十二圓三十五錢を計上提出せしに田中新四郎氏一派の山城派七人組議員は公債の皆濟を見るに至りしとて直ちに莫大の費用を投ずるは府民をして永久に塗炭の苦に陷らしむるものなりと反對し郡部會議長山內覺次郎氏一派の十六人組中半數と提携して該案を否決せんとせり蓋し山城派七人組は曩に木津川改修問題にて丹波丹後の議員の[illegible]しき壓迫を受けたる復讐をなさんとしたるなり此處に於て兩川沿岸民は躊躇なり難しと山內氏一派と益々握手を固くして反對派に對し猛烈なる運動を試み遂に三條木屋町なる松川樓に於て兩派の委員會合の結果原案より一割二分の天引をなし上桂川は二十一萬七千百四十五圓二十八錢、竹野川は二十一萬四千二百十三圓四十三錢と修正し府當局に對し設計を變更せざる事、用地の單價を減額せざる事、入札に附し一割五分を浮かしむる事を條件として妥協を遂げ府會を通過せしめたるが其の運動の裏面には盛に買收策の講ぜられたる如く當時既に風說ありしものゝ如く竹野川改修記念と稱し府吏員に鐵瓶を贈るに法律上差支へなきやと議員連中が態々事務局を訪問して其の見解を求めたる如き事實は今尚世人の耳目に殘り居れるが此の一事より推して本問題の如何に當局の注意を惹きしかを察し得べし上桂川改修の主唱者は京都農工銀行頭取田中數之助氏にして山內氏は同氏の主旨を受けて該案の通過に努力し尚總務取締役原田纏之助氏も屢々反對派と會合したるやに傳へられ居れば該問題の進捗につれて田中氏も亦少くとも證人として喚問さるゝに至るべきかと云ふ（大阪支局）

◎坪五厘の地價 一躍二三十圓

最近其筋の調査による兼二浦の土地相場は民有地一等地坪（三十圓）二等地（二十五圓）三等地（二十圓）鐵道用地借地權賣買一等地（二十五圓）二等地（二十圓）三等地（二十五圓）の價格にて取引せられつゝあるが今年は益々地價の昂騰を見るべく今之れを大正二年頃の坪五厘位の價格と比するときは實に隔世の感ありと云ふべし（兼二浦）

◎放火犯人捜查と懸賞金五千圓

大連滿鐵埠頭の怪火は既に七回に及び其の原因の放火なる事は最早明瞭となりたるを以て警務署は勿論埠頭事務所に於ても極力犯人逮捕に努め居れるが一種の不安を感じ一朝烈風の際に於て野積大豆が燒失するが如き事あらば或は大連全市が火を蒙るが如き事無しとも限らざるを以て一日も速かに犯人を逮捕して禍根を絕つべしと希望し居れるが（滿鐵本社にては五千圓の懸賞）を以て犯人の住所氏名及び其の證跡を詳記し書留郵便を以て滿鐵總務部に通報し之れに由りて直ちに犯人を檢擧するを得せしめたる者には金三千圓を又同上の方法に由り犯罪の端緒を得て犯人の檢擧を容易ならしめたる者には金千五百圓此外其の筋の[illegible]の者には金五百圓を贈る事とせり本人の姓名は本社に於て絕對秘密に附すべしとのことなり（大連）

◎惡車夫横行 晉州街道で

慶南晉州に於ける現在の人力車數は五六十臺にして多くは泗川、船津、河東方面への旅行者を乘せ居れるが鮮人車夫中に無賴漢あり賃金を取極め乘車するに途中にて酒代を強請するのみならず歸り車にも逢へば乘客を商品の如くに賣附け乘客にして若し乘替に應ぜざる時は暴言を吐き散らす如き事もあり旅客の迷惑頗る大なり取締の嚴重ならん事を望む（晉州）

京日愛讀者優待

東京大相撲
木戸割引券
（京城興行中）
後援・京城日報社

京城日報御愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戸料を廿錢に割引致候

京日愛讀者優待
東京相撲
特等割引證
此割引證を除て記載の各商店へ御持參相成ば特等席（上段棧敷）木戸共一圓三十錢に割引しサツポロビール一本づゝ贈呈す
詳細は除て記載の社告を御覽下さい◆本證は一枚一名限り但し小兒は二名まで
◆東京大相撲京城興行中通用す
京城日報社

演藝案內

黄金館　電話二三六三・二三六六

六月二十八日より特選プログラム　天活[illegible]一手代理店
[illegible]『颱風來太郎』全三卷
[illegible]『創痕』全三卷
新派悲劇『赤飯情話』全四卷
[illegible]

大正館　電話八七三

[illegible]より[illegible]
大活劇『チャップリンと行燈』最長尺
[illegible]
[illegible]全四卷

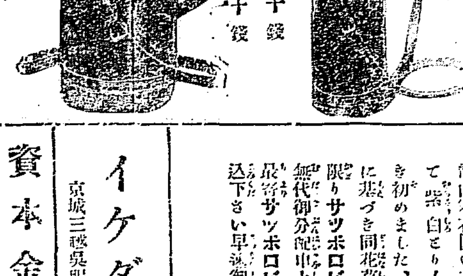
壽館　電話一〇五〇

京城本町
女流浪界の[illegible]
當る廿九日午後六時より『平一喜二』一行
▲春色咲分梅　平小一喜▲彥山權生記
黄門記（[illegible]）▲左甚五郎　三州家一芳▲水戶
田久馬御[illegible]▲元祿快[illegible]
越一美談（[illegible]）千兩幟　中軒雲入道▲[illegible]
平一喜[illegible]　八雲琴三味線合奏　[illegible]
初渡鮮の爲め[illegible]の入場料

有樂館　電話（階上二五七・階下二〇五）

東京小林商會[illegible]一手代理店
活動寫眞常設館　早川演藝部直營
當る六月廿八日より公開
▽[illegible]スクリン・マガジン第二十四號
▽[illegible]
○人情活劇『ラスは何處へ』全二卷
▽[illegible]
大探偵冒險劇『第二ダイヤの一』[illegible]

[illegible]
京城日報編輯局讀者文藝係

新式魔法瓶

△圓筒形
三合入　金一圓九十錢
四合入　金二圓三十錢
△水筒形
四合入　金二圓六十錢
五合入　金三圓
△送料　鮮內二十四錢　外二十五錢
京城太平通
京城日報代理部
電話六〇〇九番
振替京城三〇〇番

買へよ債券!!
新券拾圓迄送料當店持
賣れよ鹽崎!!
振替大阪十八番へ

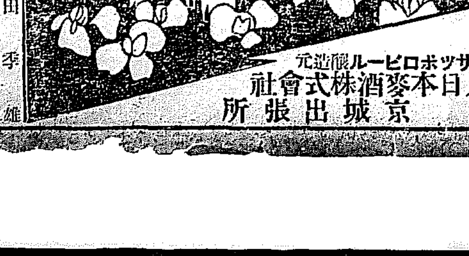
自動車
運轉手技師販賣員となり莫大の收入
東京市外　東京自動車學校　校外生募集規則進呈
大阪市西區市岡町　大阪講習所
本校卒業生は校外生と雖短期容易に[illegible]

開店御披露　大正七年六月十九日開業
謹啓益々御隆昌奉恭賀候陳者私儀桐生屋商會在勤中は多年不一方御眷顧を蒙り候段難有奉深謝候今般獨立左記の處へ營業を開始仕候間何卒倍舊の御愛顧を賜り度伏而奉願上候敬白
追而御得意各位に御禮に參上可き處乍略儀以紙上御挨拶申上候
公債株式現物問屋
東京市日本橋區通物町廿六番地
合資會社　十三屋　天野商會
店主　天野源三郎
電話本局三三四八番　電略（トミ）又ハ（ト）　振替東京五七七七番
營業案內電信略號御申越次第送呈仕候

銅眞鍮線　河本製線工場

廣告
初夏之砌各位愈々御精勵之段奉慶賀候扨弊店儀今般九州產業株式會社と契約し同社製造に係る石灰滿鮮一手販賣方引受け申候に就ては販路擴張の爲め大々的努力を以て各位の御用命に應じ可申候間御試用の上陸續御用命の程奉願上候
煉化瓦製造　左官材料一切　籾摺臼及齒木　雲母、蠣灰　食鹽類販賣
九州產業株式會社石灰滿鮮一手販賣元
釜山府佐藤町十一番地
三好商會
電話三三番
◎追て御希望に依り地方特約販賣の御相談に相應じ可申候間此際至急御照會願上候

株券　證券　地圖
當座小切手　レッテル類　其他百版印刷
並ニ諸帳簿　藥袋類製造業
大阪市東區南農人町二丁目
孝文舍印刷所
御照會ハ返信料郵券ヲ要ス

花菖蒲壹萬本
サッポロビール愛飲家に無代進呈
飾磨山彩花園の花菖蒲は昨今滿開にて紫白とり〳〵の色美はしく咲き初めました、今回同園主の希望に基づき同花菖蒲切り株壹萬本を限りサッポロビール愛飲家に汎く無代御分配申上ます御望の御方は最寄サッポロビール販賣店に御申込下さい早速御屆け申上ます

サッポロビール製造元
大日本麥酒株式會社
京城出張所

イケダ小兒病內科醫院
池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目
電話（醫院二三四番　自宅三〇〇番）

資本金壹千萬圓
頭取　安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目
電話本局五八番　振替貯金京城一一九四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

塚原卜傳

第百二十一席　悟道軒圓玉口演

島村の用人原田孫右衛門が遥たゞしき許に小太郎驚き　小『一大事とは何事……　孫『若旦那様が御切腹遊ばしました　小『エッ』小太郎大に驚ろき、小才治の居間へ來つて見ると小才治は一刀を腹に突立つて俯臥しに臥し、左右には母妹が取縋つて居る　小『小才治殿何故あつて生害をなされた、死なねばならぬ仔細あらばせめて小太郎に御相談下さるが本意………』母も　母『小太郎殿の仰しやる通り一應の話しもせずに、突然に切腹するとは日頃に似合はぬ不覺者……』小才治ホット一息吐いて顔を擧げ　才『決して狼狽へた譯ではなし、亦短慮でもござらぬ、仔細は小太郎殿御存じの通り、江戸の城主遠山丹波守の陰謀、拙者淺慮にして悟らず、老臣今中筑後に欺かれて明日小太郎殿を城内へ伴ひ、大切なる御身を危ふく惡人輩の術中に陥入れんとしたる大罪、切腹せずんば何を以つて申譯の道がござらうぞ遠來の客人鳥山下國兩老人の御深志に依つて幸ひ小太郎殿の身に恙なかりしは不幸中の幸なれども、さりとて小才治の身に取つて此上の耻辱もなし、王地剛明に誓つて異心なしといふ、身の潔白を小太郎殿に申開くための此生害、必ず御歎き下さるな……』といふ聲も早や覇り行く有様、小太郎小才治の手を執つて　小『一族たる御身が何しに遠山の奸計に加擔して小太郎を亡ぼす企を廻らさうや、固より明日の計略は今中を始め彌正一味の者共が術策にて御身までも欺き此小太郎を誘ひ出ださんとしたること明白なれば、何で拙者が御身を疑はん、其儀は決して心慮に及ばぬものを、さりとては早まつたる切腹、御身を殺しては小太郎申譯がござらん　才『イヤ〳〵決して御心遣ひ無用、兎角いふ中夜も明けなば一大事、江戸城中より迎ひの人數にても來らば立退難儀と相成る、一時も早く小太郎殿には當地を立退き、何れへなりと身を隠し給ひ、時機を待つて仇討本懐を遂げられるやう』と流石は小太夫の伜小才治立派な覺悟、鳥山石庵も此場へ來つて、石『愚老は初めて對面いたすが天晴れなる島村氏の御覺悟、最前より我々共の物語りを物蔭にて聞給ひ身の潔白を申開きのため、生害に及ばれしか、武士たる者はさうなくてはならぬ、また一つには一旦今中に向つて小太郎殿を同道する約束をいたし置きながら今さなつて縁者なればとて立退かせ、同容々城内の者共に面も向けられまじく、彼方此方を思ひ過しての御切腹と見ゆる、小才治殿の御言葉の通り、若し城内より人數來らば一大事、折角の志を無にせず塚原氏には夜明けぬ中少しも早くお立退きなさるが宜しからう』と老人の言葉、小才治も　才『鳥山老先生の仰の通り、双方に義を立てゝの生害、棄つる命は縁者なる小太郎殿のためなれば惜しむに足らず、唯島村の家名だけは小太郎殿の御出世の後御再興下されば其れにて思ひ殘くことなし、少しも早くお立退き下さるやう、母上、妹もお勸め申して呉れ』と言ひ終つて其儘がくりと打臥し、果敢なく息は斷れた樣子、妹はワッと聲を擧げて泣く、母親も男勝りではあるが一人の伜の最期に、氣も弱り、同じ泪に正體なし、小太郎も　小『ア、拙者が參つたばかりに由なき殺生をいたした、叔母上やさよ殿に何と面も向けられよう併し之れも定まる因果今更歎いたとて返らぬ事……　母『小太郎殿、伜小才治の志を無にせずに何卒早く立退いて下さるやう、此上貴方の身に災が起らば反つて小才治も成佛が出來ますまい、大望ある御身能く御氣を付けて少しも早く』といふのは歎きの中にも流石は小才治の母、鳥山老人も泪を拂つて勸めますから小太郎も出立の支度をする。

晒い浴衣地　㊂　まる三呉服店　京城本町貳丁目　電話一五七　振替武六五

多年の經驗と完全設備　銃修繕　玉井銃工場　龍山元町二　電五三八

七月一日九星

舊五月廿三日己酉　木命九紫南平先負

▲九紫　排斥論の非有日新山見合西方は吉晴劍南▲一白　無駄噺の非有日新事手控稼事は吉高丁寧にせらるべし▲二黑　高尚の日轉居開業入門名弘求職金件探鉄婚禮神佛の事なる計る等皆吉▲三碧　一氣呵成の日轉居旅行入門名弘求職出漁金錢談判等皆吉▲四綠　婚姻日轉居開業等萬吉時に女子の婚約を結ぶに大吉祥の日也▲五黄　旭日昇天の日不圖立身出世の道に出づ萬進んで利有物に勝の日▲六白　減され損の非有日新事手控稼事は吉小兒病生來難注意▲七赤　義理負の非有日新事手控稼事は吉信服用を防ぐべし▲八白　活氣增進の日轉居旅行入學名弘金件造婚姻金箭屬等萬吉

林業家福音　發育迅速十年生長四五十尺の理想用材米國黄金樹カタルパスペシオサ新輸入苗二萬本分讓説明書進呈　愛知縣海部郡七寶村　サフラン園

ともり　◉夏季休暇全癒にて吃音、訛音矯正大會を開く◉詳報郵券送れ　廣島市田中町　樂石社廣島支部

周易　明治町三丁目　介石堂　岡村介石

汽車發着　京釜線（南行）　同（北行）　關釜連絡　湖南線（南行）　同（北行）　京義線（北行）　同（南行）　[illegible]

朝鮮總督府顧問　帝國大學農科大學　三宅驥一博士が特選せる

本場藥用朝鮮人參を化學的に精製せるホシ人參製劑

從來の類似不良人參こ其の撰擇を誤る勿れ

人參は古來瀕死の重病を救ひ、一種不思議なる不老長壽の靈藥ごして珍重されたるが、近代の醫學は更に之を科學的に研究して其卓効を證明するに至れり。ホシ人參製劑は藥用人參中の最高權威ご認められたる本場開城産の人參の有効成分を採取し之れを化學的に精製せるものにして、人參研究界のオーソリチーたる三宅博士は醫藥以上の醫藥ごして之れを推奨せり。朝夕本劑を常服せば精力を旺盛にし、頭腦を明晰ならしめ、血行をよくして凡ゆる病氣に對する抵抗力を強靱ならしめ……

肺病　腦病　…及び一切。を初め、左記『人參の適應症』に列擧する病症に對して卓越せる効能を有す。

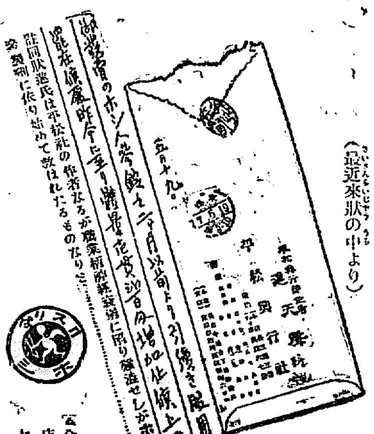
種類				
ホシ人參丸	五十錢	一圓	二圓	
ホシ人參錠	五十錢	一圓		
ホシ人參末	五十錢	一圓	二圓	三圓
ホシ人參流エキス	五十錢	一圓	二圓	三圓
ホシ人參規那葡萄酒	一圓五十錢			
ホシ朝鮮人參(生)	一圓	二圓	三圓	五圓

効能は何れも同じ

人參の適應症：神經衰弱、ヒステリー、貧血、肺病、老衰、子宮血の道、リウマチス、腦病、神經痛、陰萎、營養不良、腎臓炎、等に特効あり

感謝狀續々來る

ホシ人參製劑服用者より體量増加固執病同復等其他種々なる證狀來り本社營業所係り員は日々愉快に執務罷在候（最近來狀の中より）



星製藥株式會社　東京京橋南傳馬町三丁目　電話京橋七八五・二〇五　二・三〇一・四〇二　振替東京二〇二七番

（全國の藥店特約店にあり）

奥様の喜び

實際美乳の不思議の効力には驚きました一日二日、三日、ご用ふに作れて目立つて皮膚の色が白く美しくなつて來るのですもの私は嬉しくて嬉しくて。この味は一生忘られませぬ。これまでいろいろ化粧品を使つて見ましたが美乳ほど効果の著しい確なのは外にありません全く日本に初めてです。」

日本に初めて出來た

美乳

一日一日と色白くなる

片時も離されぬこの二品！

日本に初めて出來た美乳の評判は大したものです滿天下の喝采を博して居ります平日家庭で美乳を用つた膚へ更に又も日本に初て出來た純白美乳をお用ひになれば一滴ですぐ美事な化粧栄、今迄絶對にない白色素で遺憾なく皮膚美を發揮します、故に家庭用には美乳、外出用には純白美乳を切にお勸め致します、此二品は片時も離されぬ姉妹美容料!!

●美乳一瓶貳拾五錢　純白美乳一瓶參拾錢

僅か一瓶で美人となる　試驗はタッタ一週間！

本舗　矢野芳香園

登録商標

海の匂ひと香晶のかほり

此頃から眞夏にかけて何より清新なものは

海水に行く電車の中さては人込の裡に香晶の芳香は眞に自他の心神を愉快にす

發賣元　大阪道修町　東京本町　藤澤商店

定價　一個　金貳拾錢　各地小間物化粧品店藥店雜貨店にあり

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

司法大臣　松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士法學士　加古貞太郎先生序文
朝鮮總督府財務官舊韓國財政顧問附　小笠原寛先生序文
法政大學校友 關西大學校友　越智唯七編纂

大正七年一月一日現在正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵税十八錢

本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたる一目瞭然たるものにして道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮、清、西暦の詳細なる對照年號を示し管區數、人口、戸數、道路里數、各道の廣袤、交通、產物、名稱、舊跡、溫泉其他の概況を掲げ本書は官廳執務上を初め政治家、實業家、學者、交通、產業其の他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺くへからさるの必携書なり

發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

眼科專門　入院隨意
京城明治町東拓横（電話二〇四四番）
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

優等清酒

發賣元　永樂町二丁目　本莊酒店
電話六五四番　振替京城六二〇番

內科　胃腸病科　診察夜九時迄
京城本町一丁目　石川醫院
電話二三二九番　一七九〇番

滿天下の賞讃を博したる人參エキス

定價　內用
△七日分、金五十錢　△十四日分、金壹圓　△三十日分、金貳圓
△四十七日分、金參圓　△八十五日分、金五圓　△百七十日分、金拾圓

陸軍御用　元祖

朝鮮高麗人參直取引貿易商　京城本町一丁目

ツ　人參エキス本舗　津村兄弟商會本店
京城本町一丁目　電話一四八〇番・振替京城三五一番・取引百三十銀行
津村兄弟商會支店　京城本町一丁目　電話一八七〇番
津村兄弟商會大邱支店

大特約店
京城本町一丁目　山岸天佑堂
京城本町二丁目　木村藥舖
京城本町二丁目　北島藥舖
其他朝鮮全道四百十ヶ所
日本各府縣、樺太、北海道、臺灣、支那、滿洲、三百廿ヶ所に特約販賣致させ居候間御用命願上候萬一品切の節は本店に御注文被下候はゞ直ちに逆送申上候

品質優良藥効の顯著なる人參エキス

京城日報

第五版

三十日朝刊(朝夕刊を併せて八頁)

本社定價 一ヶ月七拾五錢 ● 郵送一ヶ月八拾錢 ● 前金 ● 六ヶ月四百[illegible] ● 壹ヶ年[illegible]
廣告料金 五號十五字詰一行[illegible]
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川三之介
電話 [illegible]
振替口座 [illegible]

[illegible]を進れるが殊に時局以來保管貨物は著しく増加し且其貨物に對する[illegible]する見込にして之を前期末に比して百五十[illegible]餘萬圓前年同期末に比して十萬圓以上の増收を見る計算なりれば約一億萬圓前年同期末に比し約二億二三千萬圓の増加を示せり然れども一面火災保險料率の引上之を保管料收入より見れば本年に貸倉償却の引上(約二[illegible])引上)にり支出も亦增加せる爲め幾分利益は減殺せられんが結局前期に於ける水害の如き大損害なきを以て大[illegible]

●電氣事業趨勢

資本總額七億を超ゆ

遞信省の調査に係る本年五月中[illegible]を前年同期に比すれば事業數四[illegible]三[illegible]資本金六千九百九十七萬百七千四十一[illegible]て前年同期より水力に於て六萬三[illegible]十七基資本金八萬六千圓新設の[illegible]電力を増加せるが更に常用發電力を九十九基合計十五萬千二百四十一[illegible]許可を受けたる發電所數は十一箇所三千百九十三基落成使用の認可[illegible]

[illegible]十一日午後五時[illegible]高陽郡[illegible]の路上にて同里金[illegible]が學校よりの歸途通行中を捕へ附近のアカシヤ並木の中に[illegible]

內地の宋學に就て(四)

(續) 今關天彭氏講演

即ち明治中興は孝明天皇明治天皇の御聖德の致した所ではありますが一方から見まするど大義名分の辨別が全國人に明かでなかつたからであるとも云はれぬ事はないと思ひます。

明治年間の宋學を一言致しますると、明治天皇の侍讀として聖德を啓沃し奉つた人は、宋學者の元田東野先生である。先生は誠意正心眞に醇乎たる眞儒でありました。又先生は當地の大儒たる李退溪先生を信奉した横井小楠を以て師友とした人であるから、多少當地宋學の學流と相合する點があるかと思ふ、次に內地人精神の根柢たる教育勅語に大功ある井上梧陰先生は、東野先生と同鄉の關係があり齊しく宋學を奉じた。そこで教育勅語の御趣意と宋學の精神と近似した點があるのであります。從つて教育勅語の御趣意を奉體して教育の衝に當るべき教師を養成する高等師範學校の學風は、宋學に近似し居るやうに見受けますが。今日となりましては種々の變化があつて一概に御話しすることは出來ませぬけれども。多少其の傾向があります。

要するに內地の宋學は傳來の初期に於て多く朱子の通鑑綱目の影響を受け其の大義名分の思想は皇室を中心として發達し、一つは流れて德川光圀の水戶學となつて大日本史に於て光彩を放ち一つは流れて闇齋學となり、一轉して淺見絅齋の學風となり、幕府の政權を握つて居るのを慨慨したのでありますが、また林家を以て代表する一つの流は、何等特異の主張はないけれども、宋學を傳播させるに就いてはなか／＼功勞があつた。次で異學の禁によつて全國總て宋學となり、社會の風潮も其の影響を蒙つて、孝悌忠信、溫良恭儉の人となりを以て善しとせられて來た。これと前後して再び綱目學派が復興してやがて宋學の空氣中にあつた全國の人々は大義名分の皇室に在ると云ふ事を自覺致し、遂に鎌倉幕府以來七百年間武臣の手にあつた政權を皇室に收むる事となり、明治の大御代を經て大正の今日に至り宋學は政府の採用する學風と誠に近似したものとなつて居る。

朝鮮は李朝の初年以來、宋學を以て統一して來たのであるから社會全部の各方面を通じて宋學の空氣が至つて濃かである。然るに內地に於ても前に述べた通り宋學と近似した學風を奉じてゐるから、この點に就いて思想の一致を見る事が出來ねばならぬと思ひます。私はこの一致點から出發して內鮮思想の統一に就いて深く研究せられる方の現はれんことを希望して已まぬのであります(完)

交換鐵材到著

引渡船工事進捗

第一回の船鐵交換に依りて本邦より米國へ引渡すべき十二隻の船舶中該契約成立當時に於て既に完成し居たるものは浦賀船渠の第六號島丸(總噸數四、六〇〇噸)第三吉田丸(四、六〇〇噸)日本汽船の明玄丸(四、五〇〇噸)及川崎造船所の東福丸(五、八五八噸)盛福丸(五、八〇〇噸)の五隻なりしが

△其の後進水を了したるものは播磨造船の第七與福丸(三、一八〇噸)浦賀船渠の米國丸(八、二〇〇噸)川崎造船の第二十大福丸(五、六〇〇噸)第二十一大福丸(五、八〇〇噸)の四隻にして目下工事中のものは大阪鐵工場の六千八百二十八噸型及び一萬五百噸型播磨造船の一萬五百噸型の三隻なるが右の內五月渡しの豫定なりし明玄丸は既に引渡しを了し六月渡しは第三吉田丸第二十大福丸の二隻にて第三吉田丸は既に

△先方に到著 荷揚中なれば不日引渡しを了すべく七月渡しは第七與福丸第二十一大福丸の二隻八月渡しは米國丸盛福丸東福丸の三隻九月渡しは第六號島丸大阪鐵工所の六千八百二十八噸型播磨造船の一萬五百噸型の三隻にして此等は大體豫定の期限通りに無事引渡しを了するに至る可く之に對して米國より供給を受くべき鐵材十萬八百噸中既に港灣迄出荷され居たる三萬餘噸は著々と積出されて去る六日[illegible]

△横[濱]入港 せる博多丸にて三千[illegible]二十二日入港の撰捉丸にて四千七百噸到著したる由にて其他の未製品も六月中に全部の製造を終り六七兩月中には材料全部米國に積出さるべき豫定なりと云ふ尚第一回及び第二回の船鐵交換に對する船舶附屬品の供給は當初に於て米國へ引渡すべき船舶に對するものゝみなる如き模樣なりしも其後種々交涉の結果大體に於て全部に對するもの、供給を受くることに無事解決せりと(東京)

◆朝鮮婦人羅蕙錫孃の寫生　石井柏亭伯筆

大阪より

△米國西伯經營

米國は戰前より露國並に西伯利亞に密接の貿易關係を有し又西伯利亞鐵道に放資せる關係等に依り同鐵道は米國人に於て管理する事となり既に鐵道員は其任に就きつゝあるが米國は更に西伯利亞に於て大規模の事業を計畫中にして先づ第一に現はれたるは華盛頓と莫斯科との間に直通電信架設を目的とし過激派政府と協定の上アラスカに一大發電所を設置中なるが右はペトロボウロスク並びにニコラエフスク齊多の各要地に今回新に開設せられたる發電所を全部直通する大計畫なり米國は此事業に次で西伯利亞を中心として企畫する事業は鐵道敷設、鑛業、林業を始め船舶業、發電所、水道業等を經營し之に對する放資は三十億弗の豫算にして頗る大規模の經營なるが過激派政府は西伯利亞の開拓事業一切を米國に委任せるに因れるものなりと右最近某所入報に依る

△亞鉛益々昂騰

倫敦亞鉛相場は敢へて強硬と言ふに非ざれども各社の生產制限協定實行と大阪亞鉛並に三井の賣止と在荷拂底と相俟て市價は漸次上向き步調を辿り昨今にては百斤につき三十二圓より二圓五十錢內外を唱へられ荷目先強合みを持續すべく觀測せれつゝあるもの、如し

△毛織物最好調

毛織物は前月に引續き近來の好況を現はし昨年末來相場不出合の爲め取引皆無の狀を持續せし支那向は彼地市場の人氣恢復に伴れ値鞘接近し近頃弗々久方振の註文入り込み一方內地向は依然強調を持續し各問屋の買氣も盛んにて會社との先約取引は既に本年十二月に亙り全國毛織物會社の年產額約二萬梱見當に對し約三萬梱を拔く大需要あるのみならず目下品薄の折柄相場は自然昂騰に向ふべく目下の現物相場は純毛一等メルトン五圓二三十錢見當なるも先物には六圓の高値物さへあり又支那輸出增加の活況を見んか下半期は益々好況を呈すべし隨つて相場の昂騰も免かれざるべしと(大阪支局)

並行線 二十三

瀧閑村

『伊豆はどこも景氣が良い、御蔭でこれ私等も息が吐ける』と行商人は前の百姓らしい老爺に話しかける。

『繭の値が途法も無く良いでの』と老爺は暢揚に答へた。

乘客中の女二人は間も無く降りた。行商人も其次で降りた爲に座席は大分緩くなつた。震動に疲れた窓からさす日影の暖かさに[illegible]は思はずウト／＼とした。[illegible]一二度休んで、馬車は中狩野村を過ぎて、嵯峨澤橋を渡ると、モウ大仁近くなつた。遙の路傍に電信工夫等の一團が休んでゐたが、やがて立上つて[illegible]横にしてあつた電柱を建てた。其時宜太郎の馬車は其少し手前迄進んでゐた。馬は眼前に樹立された此電柱に驚いて、高く嘶いたかと思ふと、一散に走り始めた。御者は吃驚して手綱を引いたが、馬は停る處か、首を左右に振り眼の色を變へて狂奔した。

『危い／＼、退いた／＼』と御者は必死になつて猶手綱を引絞る。『馬が暴れたぞ、怪我するな』と工夫等も逃げた。道を行く人は皆慌てゝ避けた。修善寺道と合する邊からは人通りが多いので、御者は復強く手綱を引くと、手綱はプツリ斷れた。馬は自由になつたのに勢を得て馬車を引いた儘益々狂ひ作ら大仁の方へ突進した。途中で置いて逃げた野菜の車を顛覆し、危く子供を蹄に掛けやうとした。

車中には宜太郎とモウ一人青年が乘つてゐた。激しい震動と恐怖とに只窓の枝を確と握つてゐる外は無かつた。青年はやがて後から飛降りると、彈みを食つて毬の如くに投出されて倒れた。

『危い／＼』と御者は聲を振絞つた。彼は首に掛けてゐた喇叭を吹くのをも忘れる程狼狽してゐた。細い道を一散に今や狩野川へ架けた大仁橋近くになつた。御者は覺悟して御者臺から飛降りて倒れた、起上る間に馬はモウ四五間進んでゐた。途端に大仁橋を渡つて修善寺行の馬車が來た。御者と共に附近にゐる人は馬を止る爲に走つたがモウ遲かつた、馬車は橋の袂で向ふから來た馬車に横から衝突した。アッと云ふ間に、馬車は打重つて横に倒れた。

人が四方から集つて來た。巡査も駆付けた。そして馬車の乘客を救ひ出した。向ふの馬車には男二人女二人の乘合があつたが氣絶した若い女が一人あつた。『誰か醫者を呼んで來てくれ』と巡査は見物の一人に命じた。其男は飛んで行つた。

宜太郎は苦痛を忍んで這出した。右の肘を突いたので堪らなく痛むが、其苦痛の中にもまア宜かつたと云ふ安心もあつた。

『あの馬は癖の悪い馬だ。飛出したのは是で三度目だぞ』『御者が馬鹿だからだ』『怪我は無いかナ、是で川の中へも飛込めば大變だつたナ』見物はこんな事を言合つてゐた。そこへ醫者が自轉車で駆付けた。氣絶した女を起すと、見物が各自音を出すので『[illegible]が小さくなつた』『コラ寄つちや可かん、退いとれ／＼』と巡査は赤くなつて群集を制した。

忘機吟社六月例會席上(其四)

東遊詩草　蟻生　芙蓉

發京城抵釜山車

忽覺塵來暖意加。吟眸無處不看花。春風車上賦詩去。[illegible]莫天涯驛路賒。

學鷗曰、風懷可想

夜發釜山壬馬關船中

蒼茫何處故鄕山。萬里風濤醉夢還。醉夢未醒天已曙。船頭日出赤間關。

學鷗曰、快意可羨

在于黄中 山陽線車中口占

身在車中意自閑。春風一路把詩刪。浮嵐暖翠看無盡。不似朝鮮突兀山。

學鷗曰、筆致翛然輕爽

東京客舍

昔記洛陽風雨多。旅窓漫錄客中歌。當年莫逆今何在。破帽弊衫奈我何。

遊去韓山道幾程。落花時節入東京。不知夙志成何日。愁殺濛濛風雨聲。

淸明節近雨如絲。楊柳青青惱客思。借問阿娘無恙否。別來底事寄書遲。

△繭賣買（京城支店 龍山驛前／大田出張所 春日町／大邱出張所 八雲町）

(亞) 東亞蠶絲株式會社 京城支店

△蠶種販賣（夏蠶冷藏種 內地產／秋蠶冷藏種 內地產／秋蠶生種 本社製）

新演藝 七月號

東京市芝公園九號地 振替東京一四一七七 玄文社

▲一部定價四十五錢 ▲送料二錢五厘 ▲六部前金送料とも金二圓六十七錢

△伊井の似顏繪(表紙油繪原色)…田中良
△七代目團十郎の將(古畫)…鳥居清長
△帝劇の四谷怪談(舞臺寫生)…佐藤三重三
△帝劇の『粟山大膳』…三色寫眞版
△新富座の『重の井子別れ』…三色寫眞版
△横濱座の『壽門松』…コロタイプ
△金澤福助座の『お祭佐七』…コロタイプ
▼新富小猿七之助(二色寫眞版)
▼中座薩摩訛情颯(二色寫眞版)
▼帝劇四谷怪談(二面大寫眞)
▼歌舞伎にごり江(二面大寫眞)
▼南座の朝顏日記(二面大寫眞)
▼熊本大和座茜染(二面大寫眞)
東西各座の六月狂言及び演藝界時事寫眞四十餘頁
(評論)再び新歌舞伎劇の爲に…楠山正雄
(芝居小說)珊瑚星…松居松葉
△演劇鑑賞に就ての錯覺…岡村柿紅
△うき身と濁り江(劇評)…岡田八千代
△婦人より見たるお岩…大村嘉代子
△黙阿彌の小猿七之助…河竹繁俊
△人形『熊谷陣屋』の型…水島爾保布
△四谷怪談みたまゝ…(帝國劇場)
△誕生石みたまゝ…(大阪中座)
▼お岩の型の話…尾上梅幸
▼横濱座劇評…久保田米齋
▼お初の[illegible]研究…魚
△二座るの記…鬼太郎
▼初夏の舞踊會…金子東一
▼演藝仕掛花火…町田博三

德富蘇峰氏著
近世日本國民史
著者曰く文章報國は予が晩節の天職也予は此天職を盡すべく畢生の事業として此著述を思立ちたりと
內容（第一期 織豐及德川時代／第二期 孝明天皇御宇史／第三期 明治天皇御宇史）
『國民新聞』は七月一日より此空前の大著を連載す
購讀料 一ヶ月六十錢 郵税十錢
東京京橋區日吉町 國民新聞社
振替口座東京三六三番

中元 御贈答品賣出
七月二日より
御手輕にして重寶なる 三越の商品券
東京、大阪、大連、京城の各店に共通壹圓以上何程にても發行仕候
七月一日は店卸し勘定に付休業仕候
(越) 京城 三越吳服店

第一期決算

自大正六年十一月二日 至大正七年四月三十日 貸借對照表

借方	
未拂込資本金	一五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
鑛區地所建物鐵道機械及諸設備	八、二一六、〇三九・三[illegible]
起業費未決算	一〇、[illegible]
有價證券	九五七、六七五・〇〇
倉庫品及特殊貯藏品	一、四八八、〇[illegible]
鑛物原價	四〇〇、七〇六・[illegible]
創業費	九三三、五三一・[illegible]
支拂未決算	四二〇、七[illegible]
貸附金	二〇〇、七[illegible]
未收入金	[illegible]
假拂金	三五[illegible]
預ケ金	[illegible]
銀行當座預金及振替貯金	八三[illegible]
現金	[illegible]
合計	三七、八四〇、七八[illegible]

貸方	
資本金	三〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
借入金	七、六〇〇、〇〇〇・〇〇
勘儉預金	八、八[illegible]
假預リ金	六[illegible]
未拂金	一四五、五[illegible]
支拂手形	[illegible]
合計	三七、八四〇、七八[illegible]

右之通ニ候也

東京麴町區八重洲町一丁目一番地 三菱製鐵株式會社

取締役會長 原田鎮治
常務取締役 堀悌三郎
常務取締役 三宅川百太郎
取締役 岩崎小彌太
取締役 江口定條
監査役 桐島像一
監査役 青木菊雄

○聯合軍重要軍事會議

佛國首相クレマンソウ氏は米佛軍事委員長アンドレー、ダルジュー氏を伴ひ巴里出發米軍總司令部に臨み軍司令官パーシング將軍、聯合軍總指揮官フォッシュ將軍列席の上重要軍事會議を開催せり（巴里電報）

○墺首相の地位危し

墺國首相サイドラー氏は墺軍退回の攻擊失敗に依り其地位愈々危殆に瀕せり結局辭任の外なかる可しと（倫敦電報）

○セイム戰爭地帶編入

佛國政府は巴里所在セイム縣を戰爭地帶に編入する旨布告せり（巴里特電）

○米軍の實力二百萬

二十六日米軍の佛國上陸一週年記念日に於て調査せる處に據れば佛國戰線にある米軍は既に六十五萬に達し目下輸送中の者二十五萬米國内に於て訓練中の者百萬ありと（華盛頓電報）

○官吏勤務時間延長

米國政府は今回官吏の勤務時間一日七時間を八時間に延長し割增手當を給與するに決定せり（華盛頓電報）

○獨外相と講和問題

獨逸外相キユールマン男は二十四日帝國議會に於て演說して曰く講和の提議あらば其基礎の確乎たるものに限り是に應議す可し獨逸は敵國が形勢に應じ且つ獨逸に滿足を與ふる講和提議を爲し來らん事を希望すと（ヘーグ電報）

○獨穀類貯藏品激減

獨逸議會に於ける食料委員會は貯藏品激減の爲め穀類給與量を增加する事不可能なりと聲明せり尙ほ同委員會は今や次期の收穫に依りて當然麵麭を通常の給與量に復歸せしめ得可しと思考しつゝあり獨逸の同盟國たる墺國が救助を求めつゝある時に當り獨逸は殆んど墺國と同樣の狀態にあり（ベルン電報）

○露都の赤衞軍大會

最近ペトログラードに於て第二回赤衞軍大會あり議長に社會革命左黨ベルジン氏を押し過激派反對猛烈にて過激派黨員を場外に押出せとの聲盛んに起り場内頗る騷擾を極めたり今やペトログラードは反過激派熱橫溢しつゝあり（哈爾賓電報）

○浦鹽夜間入船禁止

浦鹽港は夜間の入船を禁止せり（浦鹽電報）

○キヤクタ市大恐慌

キヤクタに赤衞軍二百名現はれ市民大恐慌を來しつゝあり（奉天特電）

○高瀨東拓理事

高瀨東拓理事は廿九日午前九時半來安久賀鮮銀支店長等を共に市内を視察し午後八時半發列車にて奉天に向へり（安東特電）

○牟田參謀長歸任

旅順要港部參謀長牟田大佐は二十九日午前九時半安東通過歸任せり（安東特電）

○桑苗生產狀況

前年に比し七割六分增

桑苗の生產事業は近時著しく發達し大正六年には其の生產者數一千八百十一人を算し前年に比し

▼七割六分を增加せり而して其の生產桑苗數は實生苗五千八百六十八萬二百五十八本、接木苗二千七百二萬八千六百六十六本、合計八千五百七十萬八千九百二十四本にして前年に比し實生苗に於て十一割四分接木苗にて九割七分總生產數に於て十割八分を示せり實生苗の主產地は京畿道にして其の數三千三百五十二萬四千三百四本に及び總生產數の五割七分を占む之に次ぎて多きは平安南道の七百三十四萬二千百八十六本、平安北道の四百三十五萬七十七本、全羅南道の三百七十三萬五千百五十五本にして其の最も少きは忠淸北道の三萬本とす

▲接木苗は 慶南、京畿の二道を主產地とす前者は八百三十八萬六百五十六本後者は七百三十四萬三千八百二十二本を生產し其の合計數は總生產數の五割八分を占む之に次ぎて多きは全羅南道の三百二十萬七千二百九十本慶尙北道の三百一萬二千九百十九本忠淸南道の百九十八萬七千九百九十八本全羅北道の百七十七萬二千百八十本にして咸鏡南道の七千本を最少とす次に是等の桑苗を生產の目的に依り區別し其の產出の狀況を見るに農蠶業獎勵機關の生產數は實生苗一千九十六萬八千二百九十七本接木苗二百三萬三千九百七十五本合計一千三百萬二千二百六十七本にして

▲總生產數 の一割五分に當り平安南道慶尙南道平安北道及咸鏡南道等に多く生產販賣業者の生產數は實生苗四千七百七十一萬一千九百六十六本接木苗二千四百九十九萬四千六百九十一本合計七千二百七十萬六千六百五十七本にして總生產數の八割五分を占め京畿道慶尙南道及び全羅南道等に多し今桑苗生產累年比較並に大正六年桑苗生產地方別を示せば如左

年次	實生苗	接木
明治四十四年	[illegible]	[illegible]
大正元年	[illegible]	[illegible]
同二年	[illegible]	[illegible]
同三年	[illegible]	[illegible]
同四年	[illegible]	[illegible]
同五年	[illegible]	[illegible]
同六年	[illegible]	[illegible]

備考　大正四年以降は自家用のものを含ます

○委員會と市場問題

京城府内に於ける市場統一事業は當然府廳に於て之を爲すべきものにして市場規則に就て見るも明かなり乃ち當局に於ては鋭意之れが調査研究中なる事本紙屢報の如くなるが總督府京畿道廳及び府の

▲各委員會合 の結果問題となり居るは第一市場敷地の位置第二敷地面積の廣狹第三市場統一の順序第四現在市場の存廢第五衞生的設備其他市場施設第六卸小賣併置の可否等にして之等の諸點に關し一度成案發表さるゝ曉に於ては多少商業會議所の立案とは其の趣を異にするものあるべし府當局若しくは市場統一委員會の意見としては第一敷地の選定に關しても東拓橫李王家所有地より寧ろ官有地に據つて無償使用を爲すを以つて得策とすとの點にあり若し確適なる

▲官有地を 發見せざる時は之を他の適當場所と交換せん方針なるが擬し第二の問題たる敷地面積の廣狹は第三の問題たる市場統一の順序と關聯して決定すべき性質のものにして委員會は卽ち至當り現在の市場にして其の存續期間滿了に近き南米倉町市場及び中央集散市場を統一整理することに止め置く方針を採れるが如し其の結果敷地面積の廣狹は一層愼重考慮を要する問題となり漸次擴張し得る餘裕を存し置かざるべからざる等の關係より一の難關となり居るもの、如く前記

▲二市場以外 のものは其の存續期間甚だ長く東大門市場の大正四十五年七月南大門市場の大正十六年二月の如き長期に亘り居るものあり今府營に成る市場出現すと假定するも是等の市場を廢止するは不可能の事となり居れる有樣なるに拘はらず市場新設に當り數十年後完全に統一されたる場合にも何等不都合なき施設を現下に於て爲し置く事は寧ろ其の必要を認められざる事にして不生產的と謂はざるべからず將來擴張の餘地を目論見る事必要なるべし卽ち敷地面積の

▲程度奈何 が委員會の問題たる所以なり其他市場設備に關しては衞生方面經營方面其他種々なる見地に立ちて審議討究すべきもの多く財政の餘裕少なき京城府の最も困難を感じ居る所なりと某當局者は語れり

○京畿繭共同販賣

京畿道第一回の春繭共同販賣は六月二十八日龍仁郡に於て行なはれたるが販賣繭量は百七十石の豫定たりしも實收二百八十石餘に增加し品質亦良好にして入札者二十七名が主なるものは尾澤組、棚、東亞蠶絲、南鮮蠶絲會社等にして其の石當り價格左の如し

	又昔	交配
特等	一一七、五〇〇	一〇二、五〇〇
一等	一〇二、五〇〇	九七、五〇〇
二等	九九、四〇〇	九一、一〇〇
三等	九二、七〇〇	八七、一〇〇
四等	七七、一〇〇	七四、八〇〇
等外	五八、七〇〇	五四、八〇〇

▲備考　又昔は丸一斗擧京一粒栗、交配は同

尙ほ京畿道管内に於ける第二回春繭共同販賣入札は六月三十日漣川及び富川兩郡に於て施行する筈

○印紙收入概況

大正七年度五月分印紙收入は四十八萬七千百四十九圓同月迄の累計は九十萬三千八百三十九圓にして前年度同期の收入に比すれば五月分は八萬八千七百十圓累計十八萬七百七十六圓を增收せり

○京城點呼許可數

京城府管内居住の在鄕軍人にして本年度より朝鮮に於て施行さるべき勤務演習簡閱點呼參會許可を得たる者六月廿七日現在に於て前者五百十九名後者九百二十名あり此の外目下手續中の者多少ある豫定なるも在鄕軍人數に比し頗る僅少なりと

○群山地方植付狀況

群山の隣郡沃溝郡内に於ける苗代移植狀況を聞くに旱天連日に亘り用水缺乏の爲め植付を爲す能はざる地方多く僅かに水利を得る地域三四割の植付を爲したるのみにて農家の憂慮一方ならざりしが二十二日より二十三日に亘る豪雨にて稍々愁眉を開き全郡を通じて約七割の植付を了し苗代は水不足の爲め移植期遲れ稍々成育に過ぎたる感なき能はざるも移植後の成育狀態は槪して良好なるもの、如く尙ほ當地方は二十二日の降雨後連日雨模樣にて近く今一回の降雨を得ば畓地帶方面殘餘三割の植付は無事完了すべしと（群山）

○府尹郡守會議延期

京畿道廳に於て開催すべき府尹郡守及び府郡財務主任會議は七月八日より三日間開催する事に延期せり

○憲兵隊主計異動

二十五日附にて憲兵隊主計に左の如く異動ありたり

一等主計　近藤德三郎　海州憲兵隊附ヲ免シ義州憲兵隊附ヲ命ス

一等主計　小田　草藏　義州憲兵隊附ヲ命ス

二等主計　和田　文吾　咸興憲兵隊附ヲ命ス

○洪川局と鐵嶺遞送

江原道洪川郵便局にては内地行郵便物の遞送を洪川より楊平まで馬車にて運搬し楊平より京城迄は漢江を利用し船便によりて京城迄遞送することゝせりと

入小包郵便物約一千個を引受けたるが右は重量の割合に容積大なる爲め多數の駄馬を要するを以て既に其の遞送線路を變更し洪川より楊平迄約十三里間を馬車にて搬送することゝせりと

○警部口述試驗

警務總監部にて先頃施行せし内地人警部試驗は此の程成績審査の結果筆記試驗に合格したるもの五十餘名に上りしが其の合格者に通牒する所ありしが口述試驗は二組に分ちて施行の筈にて一組は七月一日及び二日の兩日其他の一組は同月四五の兩日何れも總監部にて施行すべしと

○桑原道長官出張

桑原咸北道長官は行政事務視察の爲め十九日を以て雄基、在川兩縣及び東京市へ出張を命ぜられたり

○片山理事入京

日銀理事片山貞次郎氏は廿九日午後九時着列車にて入京天眞樓に投宿せり

○中村少佐東上

第十九師團兵器部長中村少佐は七月八日より五日間陸軍省に於て開催さるゝ部長會議に列席のため七月四日龍山發東上の豫定なりと

○多木肥料

多木肥料會社重役多木久米次郎氏は先般來京の際金一千圓を京城工業專門學校に寄附し其の利殖金を以て生徒の實習材料購入費用の内なり又學術優秀の生徒への獎勵の爲め使用せられ度き旨を共筋へ申出でたり

人事消息

▲河内山樂三郎氏（京城商業會議所書記長）三十日午前九時南大門發列車にて東上せり

▲高城附官（總督府事務官）今回全州群山地方へ出張すべく七月一日發四日歸任すべし

自鳴百種

露國廢帝が過激派の爲に殺害せられたと云ふ說が傳つて來た▲何うも虛言か實か判らぬ殺された筈の人が生きて居る事は露西亞には敢て珍らしくない▲鳥渡一例を擧げると彼のコルニロフ將軍なども其うだ▲殺された筈の將軍は今に鑠鑠として反過激派の活動をやつて居る▲同將軍の死を觸れ廻つたのは何とか云ふ坊さんで自分で親しくエカテリノダール郊外へ將軍の遺骸を葬つたと云ふから誰とて疑ふ者はなかつたが▲近頃其の死骸を掘り出して見ると顏から年から全く違つた換玉であつた▲斯う云ふ事もあるから又だ廢帝殺害もあてにはならぬ▲が皇位を逐はれて西伯利の野にさすらひ裁判說や殺害說近傳はる廢帝程悲慘な人は尠ない▲濠洲シドニー市長は同市より募集された一千人の新兵に對し第一番にヴイクトリア勳章を贏ち得た者には五十圓を懸賞して居る▲同市には女の義勇兵も八百人あつて目下訓練中だとの事▲『若し政府さへ許可すれば喜んで戰線に立ち兄弟と共に戰ふ』と氣焔を揚て居るが▲先生方は戰爭を救世軍と間違へて居りはせぬかと惡口を云つて居る人もある

○革類輸入制限

朝鮮に關係あるもの

米國輸入制限品加除の件に關し其筋の發表する所に據れば米國戰時通商取締局は六月十六日附及び十七日附を以て制限品に加除を行ひたるが内朝鮮の生產品に關係あるものを揭ぐれば左の如し

六月十五日以後獸皮革類鞣皮及び革製品を輸入制限品に加へ同日以後の船積に對し航發の許可證を無効とす但し臨時工業局に於て政府用たるを證明したる場合並に加奈陀及び濠國より陸上輸送せらるゝもの及び歐洲より の歸航船に依るものに對しては許可を與へ尙ほ右に拘はらず南米よりは一定量の牛皮の輸入を許可すと

○各銀行決算

大正七年上半期の大算締切期は六月三十日なるも日曜に付何れも二十九日午後四時を以て締切りたり

○海底線不通

佐世保大連間及び下の關釜山間の海底電信線は二十九日朝より故障の爲め不通となりたれば内地朝鮮滿洲間發著の電信は一般に遲延すべしと

○對露債權救濟

救濟額六千萬圓

府が所有者を救濟すべく[illegible]なりたるが其方法は右各種對露債權を政府の手に移し其代償として臨時國庫證券は之れを市場に公募せず直接債券者に交付するか若し[illegible]て付債者究中に係り六千萬圓の[illegible]務官等よりは期限到來の債權に對し屢々吾政府に救濟を求め來り之[illegible]

[illegible]態に關して報道して曰く獨逸の財政及び經濟狀況は昨年中に大に改良せられたりと[illegible]なりとす獨逸人民犧牲の精神は海陸軍及び聯國の爲めに備ふる所ありて原料及び物資の分配を可能ならしめ[illegible]も增大せり鐵道收入は貨物輸送の增加により增加したり產業狀態は再び改善し職を離れたる者殆んど[illegible]たれ國家の必要を滿足せしむるに今日に至り同銀行の純利益は千九百十五年の一割二厘四毛、千九百十六年の八分四厘三毛[illegible]は十分なりと金融市場の通貨は軍需品供給に對する支拂ひ輸入の制[illegible]並びに數年來に獨逸銀行の金準備は昨[illegible]

○朝鮮米移入新計畫

外米と鮮米の交換＝低廉なる價を以て内地市場に現はれん

朝鮮米移入新計畫に就き片山外米管理部長は語りて曰く、朝鮮米は其品質何等内地米と異る處無く殊に内地四等米に該當す、從來内地に移入せる數量は最も多き年にて百萬石、尠き年は四十萬石を示せり、今年は既に

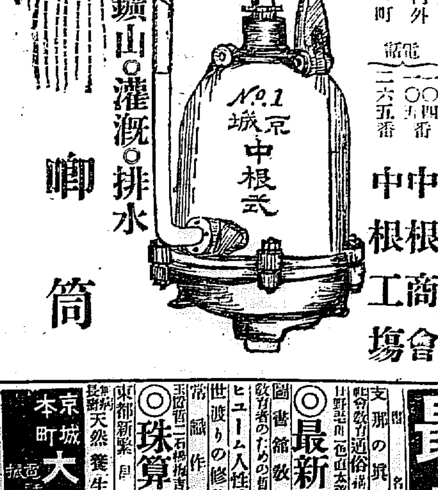
▲六十三萬石 の移入を見たるが、元來朝鮮人は廉價なる代用食物あれば喜んで持米を賣出す風習あるを以て、外米を廉價に賣出すに於ては其持米を手放し内地への移入力を增加す可し今日朝鮮米は無限の供給力を有し目下尙千三百萬石以上の輸出力を有する

外米を以て外國米一部を朝鮮米と交換したりとて何等内地に對する供給力を妨ぐる惧無し

▲鮮米の時價 は朝鮮にて二十四圓臺なるを以て相當高價なる運賃を見積るも尙低廉に内地市場に供給するを得可し今の處朝鮮米は外米と異り何人も是れを移入するを得れども或は朝鮮米に對しても管理令を適用するに至るやも知れず此點に就ては目下研究中にて尙朝鮮米移入促進に就き其輸送機關たる船舶鐵道兩當局とも目下協議中なり（東京特電）

○支那幣制改革案

支那財政部は目下幣制改革案を起草中にて右出來の上は四國財團の檢閱を受くべしと（北京特電）



鑛山○灌漑○排水 喞筒

朝鮮總代理店 中根商會

東京銅鐵株式會社 東京製鋼株式會社 中根式鐵内用押揚喞筒製作發賣元

○廣印八角銅朝鮮發賣元

京城南大門外 電話一〇〇四番 中根商會

京城岡崎町 電話二六五番 中根工場

婦人畫報

七月號 東京京橋區南鍋町一ノ一 振替四千九百番 東京社

◎長篇小說 源氏車 渡邊霞亭

◎長篇小說 須磨子 菊池幽芳

◎秘したがる癖 新渡戶博士

嫁姑問題 ▽嫁と姑との融和（下田教授） ▼同居か別居か（麻生學監） ▲嫁姑に對する注文（棚橋校長）

◎男子の荒み行く徑路 十餘名士

回同情ある妻を數（へ尊け）（吉岡女醫） 回今年は乳飲兒の脚氣が多い（三島博士） 回眞の男女和解の日（成瀨女大校長）

回お中元の贈物には何がよいか（婦人記者） 回避暑へ持つて行くべき品々（井上秀子） 回夏向きの家具値段調べ（婦人記者）

◎一葉 ◎金婚 小波

回名古屋女の印象（こゑごり） 回電話交換手の身の上話（つきぢ） 回手輕な絞り染の仕方（こまか）

回洗濯と服物の仕方（三宅安子） 回夏向きのお料理（吉村基子） 回七月の家庭園藝（伏木保治郎）

（諾報） 附錄 回涼風（二頁大）（原色版） 伊藤小坡女史筆 回淺島のむれ

集金人 一名 給仕 一名 府内ニ確實ナル保證人二名ヲ要ス 年齡十五六歲小學校卒業程度 右希望者ハ履歷書持參來談ノコト 京城黃金町二丁目 明治生命保險會社出張所

辯護士 判檢事 文官高等 試驗答案 受驗指針（最新刊） 金城齋助編 筆記答案口述答案を集輯せる指導標特價金九十五錢也（但本來月中）郵稅金八錢也 京城下谷區上野櫻木町四五 帝國法科學報社 振替東京三一七二番

▲流行燈籠 特價金拾圓也▼ ▲送料鮮內一圓外三十錢 ◎純毛にして新流行縞物四種 ◎世間ありふれたる內地製品にあらず 純英國製にして「シワノヨラヌ」不非常の好評殘部僅少と相成候間至急御注文願上候 京城太平通り一丁目 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 振替 京城金口座三〇

京日案內 ▲申込後中途解約中止の節は料金不返 ▲六回以上の御申込は特に割引の二割 ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず ▲御照會は必ず數字の番號御記入なさること 普通 一回前金（限名一回）五十錢 番外一回前金（限名一回）一圓に拾錢

◎大角力興行中鰻まむし東京 仕出し大勉强 旭町一丁目 川魚料理出雲屋 電話二八一一五番

▲融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報伺上候 大和町三ノ三二（柄澤前）起木屋 京城 258

寫眞銳玉寶良○クック新式精良比入像用新古收合三個暗箱繰上 京城 菊田寫眞館 262

番外

◎左官用布海苔 銀杏草並に櫻草 全羅南道木浦府 諸海草卸商 山本萬次郎商店 149

朝鮮語科 英語科 新學期三ケ月卒業 各級補缺募集 南大門通漢城銀行向ひ 京城商年

測量製圖 料金低廉親切 山事務所に御希望により御宅に參上事務に從事可仕候 京城南米倉町二三六 村田 268

確實け貴金屬 金側時計 金鎖 金方針 金羽織紐 金弁 金指環 金根掛 金タボ 金帶止 金簪 金手鉤 金止メ 金ピン 金立 ダイヤモンド寶石類 京城本町二丁目 勳章堂 平井時計舖 電話二二〇一番 振替京城一〇六

最新刊

支那の現相 大阿部時光 一、九〇 會社教育通俗講話 加藤咄堂 一、七〇 日野吾自巴改本著右眞定價參圓六十錢

◎最新藥物學 一、五〇 圖書館教育 田中敬 一、五〇 教育者のための哲學 稻毛詛風 一、六〇 ヒューム人性論 太田喜男 一、七〇 世渡りの修養 出羽榮一 一、三〇 常識作法 有馬綱三郎 七五

◎珠算精義 定價壹圓八拾錢 玉置喜三郎著 東都新築 山口記一 一、二〇 長壽天然養生法 西村ト茲 一、〇〇

京城本町 大阪屋號 電話六八四番 振替京城二五七三番 （本店）東京（同店）大連、旅順、奉天

[illegible]千萬圓を發行し吾民間より現金を債權者に交付する等也而り露國政府に讓渡したる軍需品のして右債權中には讓渡禁止の條件貸料代金露國政府手形其他各種政付のものもあれば之れが處分に就權者に交付するかは未決なり尚右救濟に就ては露國過激派政府とは何等交渉せざるを以て[illegible]便及び財

●獨逸經濟狀態

獨逸帝國銀行年報は獨逸の經濟狀[illegible]濟生活は戰爭の需要と步調を共にしたり但し物資の生産及び分配に幾分困難の隨伴したるは無論の事[illegible]再び增加し石炭の生産は平和時に於ける生産額と略ぼ接近し褐炭の生産は千九百十三年に於けるよりも[illegible]婦人をさへ雇傭して滿足されず獨逸金融市場並びに帝國銀行の情況にこそ多少の變動を起し[illegible]下に在りて獨逸帝國銀行の公定割引步合は千九百十四年十二月廿三日定めたる年五分を其儘維持して[illegible]主の配當は千九百十三年の九分六厘八毛、千九百十四年の八分九厘[illegible]

東京大相撲＝二日目＝
力士觀客緊張して土俵の内外活氣滿々たり

東京大相撲二日目なる廿九日は朝來天氣模樣怪しく人足を鈍らせたるも午後よりに八分以上の入りあり登場力士も頗る緊張して土俵の内外活氣滿々たるものありき當日の主なる勝負及手捌きは左の如し

勝	手	負
荒濱		松ケ島
瀬戸川		峰の越
生田川		奧州山
黑潮		千田川
一ノ島		高ノ矢
泉潟		藤ノ谷
沖ノ石		房州山
土崎		石ケ濱
鶴ノ海	掛投げ	福知山
淺ノ山	突放	九紋龍
大淀	引落	若葉山
玉ノ川	足取	甲州
△中入後		
小牛田山	踏越	小田ノ山
眞砂岩	押出	白岩
大岬	押出	能代潟
三杉磯	腰碎	翠ケ浦
千葉ケ崎	渡込	錦島
鳳	吊出	藤ノ川
△本社番外お好み		
大潮	渡込	錦島
△サッポロビールお好み		
能代潟	寄倒	鶴ノ海
△本社飛付き五人拔き		濱地洋

右の内▲小牛田山に小田ノ山は小牛田稍立ち遅れの氣味なりしが小田が素早く右を筈に當てて押すを小牛田土俵際にウンと怺へて押返し反對に左を差して押進み小田が土俵際にて苦しまぎれに打棄らんとしたるも既にその時踏切りありて小牛田の勝▲白岩に眞砂岩は白岩敵の突いて立つ右手を引掛けそのまゝ正面溜りへ持つて行きしが眞砂巧みに廻り込んで反對の敵の左手を取つて渡し込まんとする際後ろ向きと爲りて危ふく見えしも立直り白が勢ひ込んで寄らんとする渡し込み氣味に足を持つて押し出す▲能代潟に大岬は人氣同志なり立上るやバッタリ右四ッ岬が差手を捲き替へんとするを能代嫌つて振り解き正面溜りへ寄り立て腰を落して寄切らんとしたるが岬よく殘して廻り込み反對に右を筈に當てゝ押進み遂ひに西溜りへ押仆しての勝は大喝采▲翠ケ浦に三杉磯は翠が初日に千葉を食ひ居ることゝて滿場の拍手に迎へられ待つた化粧立數回入念に仕切つて立ち上るや三杉左を筈に當てゝ押進むを翠其手を突き除け飛び違つて突き合ひ土俵一杯に跳ね廻つて寄合ふ内正面溜りに寄られながら翠廻り込まんとして腰碎け三杉の勝は喝采▲大潮に大戸平は大潮への双方の聲援盛んにして忍入に仕切つて立上るやバッタリ左四ッ互ひに下手投げを打ち合ひて寄り合ひ大戸平腰の攻勢を取つて寄りを試みしも大い危ふきところをよく殘し押し返すや相四つのまゝ互ひに呼吸を圖つて仕掛けず水となり入後大潮足を飛ばして足を捲いて寄り立て大戸が殘し足を捲いて防ぎ反對に浴びせかけんとする潮右手を持つて渡し込んでの勝は大相撲にて滿場大喝采▲千葉ケ崎に錦島は立ち上るや右四ッ千葉の鋭く寄り立つるを錦よく殘して廻り込み千葉がサラバと吊りに行くを錦外掛けに防いで殘し寄り合ふ内水を爲り水入後千葉より吊身に寄り進み錦が土俵際に怺へて殘すを千葉互驅を突きつけ崩り立て寄り仆しての勝は錦島敗けたりと雖もよく取りたり▲鳳に藤ノ川は立ち上るやバッタリ左四ッ互ひに上手褌を引き合つて競り合ひ機を見て藤の寄り立つるを鳳殘して寄り進み藤が西溜りに堪ふるところを吊り出し鳳の勝にて午後五時二十分打ち出したり

飛付き五人拔優勝者　濱地洋

相撲雜觀
險惡な空模樣
俠んさもすうとも言はぬ中祭の藝妓連
＝青木君の落膽＝

降りさうで降らぬ空模樣は風と共に相撲小屋を吹き撲る音は猛烈初日のやうな景氣の多い彌次は影を潜めて了つたが看客の緊張の度は愈々加つて雨降らば降れと言つてやりたいやうな

▽活氣が横溢 した、本社好み相撲なる大潮錦島の取組は何れも人氣力士、立上るや柳川人會員は例に依つて大潮フレー〳〵と聲援し錦島には清月の親爺や青木、飛三君などが顔を眞赤にして力瘤を入れる、勝は大潮の上手投で定ると萬場大喝采サッポロビールの好み能代潟に鶴の海は物言二回の後能代吊出して勝續いて本社好み相撲の飛付五人拔きは濱地洋に取配掛る中入前後となるや天候模樣は愈々險惡となつて今にも降り出さん許りなるにぞ今まで陶醉に

▽雛さま然と 坐り込んで俠んさも粹とも言はなかつた中の藝妓連は衣裳を氣にして腰が浮き『あら雨が降りさうだわ』と大騒ぎ、中入後は何れも好取組續出大戸平に大潮、別項手捌きの如く大相撲となり水が入つて後大潮渡し込んで勝は滿場を熱狂させ千葉に錦島の取組となるや正面棧敷の青木君と向棧敷の清月の親爺は眼に入れても痛くないやうな顔をして錦島の化粧立を眺めて居たが立上り千葉激しく寄立つや兩人共に諦くなり錦巧みに殘して廻り込めば顔を崩し千葉遂に二驅を突きつけ塌立てると青木君泣かんばかりになり

▽錦善戰して 遂に倒さるゝや『負けても宜いよい相撲を見せて呉れた』と聲もおろ〳〵。これも七内島の如く一喜一憂して居た清月の親爺も山椒を噛みつぶしたやうな顔したまゝ悄氣込んで了つた

▲鳳會惣見 鳳贔負の静陽軒の主人等の主唱にて組織せる鳳援會にては三十日の日曜三日目當日惣見を爲し盛んに景氣をつける由

▲大潮會惣見 大潮後援會初日以來連日大潮のために惣見を爲しつゝあるが三十日は日曜の事とて大々的に聲援を與ふる筈にて當日中入後直ちに同人に對し同會より銀盃一箇を贈る由なり

▲仙台力士後援 宮城縣人は仙臺出身の大戸平、白岩、小牛田山、伊達錦、石ケ濱、寄藥山の六力士後援會を組織せんとて目下協議中なりと

◉坂本中尉遺骨
關門を通過す

坂本海軍飛行中尉の遺骨は二十九日午前八時四十分嚴父治平實兄良次の二氏其他の親屬に護衞され下の關驛著直に門司に渡り同驛にては佐賀縣人多數の出迎を受け十時四十五分發列車にて郷里佐賀に向ひ出發せり（門司特電）

◉茶色の鳩と共に出沒する女騎士
＝セ軍の勝利＝
◇彼の姿が現れると戰は

[illegible]せる其人の話に曰く

セミョノフ軍中に唯一人の女武者がある、彼は假名のミルコーを以て軍中でも

◆不思議な女 として傳へられてゐる、彼は一將校の妻で彼れの任務と本名とはセ將軍と二三の中堅人物が知つてゐるばかりで最も、不思議に感ずるのは彼が如何なる場所にも戰闘の開かれた時には必ずその姿を現はしてゐることでその

◆神出鬼沒に は堂々たるセ軍の將校連も一驚を喫してゐるさうだそして彼は常に駿馬に跨り縱横無盡に硝煙彈雨の間を疾驅しいが誰も深く知るものはない、何等か重大な任務に從つてゐるらしいが一見瀟洒な風采ではあるが何處かに犯すべからざる威嚴があつて

◆腰には短銃 を下げ軍中の何人と雖も二三を除いて彼と話を交へることを堅く禁じられてゐる、その上彼れの姿の現はれた戰爭は必ずセ軍の勝利に歸するので彼れと勝軍と何か深い因縁のあるやう兵隊どもは

◆彼れの姿を 見ると『モウ戰爭は勝つた』と勇氣頓に百倍して勇猛奮進敵壘に突擊するのだ彼に就て不思議なことはまだ之のみに止まらない、彼が常に身邊を離さず伴れてゐるのが

◆茶色の鳩が 一羽如何なる場合にも彼れと共にある、更に黒い皮で作られた長さ一尺ばかり周圍約四寸ほどの筒は彼れの手から離さない[illegible]ミョノフ將軍に屢々手渡しされる、此筒の中には乾度神秘な物語りが含まれてゐるに相違ない

◆不思議な事 はまだ是に止まらない、彼は是迄衆人の前で食事をしたことがない。斯うして妙な女はセ軍の行く先々へ隨つて行く、或はセ軍が迷信の深い兵卒のために特に彼をして此の擧をなさしめ兵卒の信仰を繋さうといふ一種の操縱策ではあるまいかとの話だ

◇藝妓連の見物 サッポロビール好見に來つて見物中の藝妓連向つて右より花蝶、花龍、北郷、秀奴、その他

◉平北獸害
牛三十餘頭咬殺

平安北道にては昨今各地に豹、狼豺等の猛獸出沒して家畜の咬殺さるゝもの夥しく六月中に牛の咬殺されしもの三十餘頭、豚の被害數十頭に達せるが六月十八日楚山郡楚山面雲海里河川洞崔公汝方にて

▼▲豚二頭 六月十六日渭原郡崇正面龍淵里崔永寬、韓[illegible]俊方は牧牛各一頭宛又金昌市方は同じく二頭を狼群の爲め咬殺され、同郡渭原面城內洞金希俊方は同月十五日豹の爲め豚三頭を、同月十五日同郡崇正面新明洞朴成根方の牧場に

八頭の ▼▲狼群現 はれ牝牛一頭を食ひ盡し六月十三日龜城郡龜城面青[illegible]洞文承浩方は狼一頭を豹に咬殺され宜川郡深川面東林洞金允禮、渭原郡大德面桃源里芮賢、京、同郡和昌面大野洞李仁化方は各放牧中の畜牛一頭を咬害され殊に甚しきは昌城郡にて五月初めより六月初め迄の間に昌城郡大倉面及び青山面の兩面のみにて

▼放牧中 の牛十六頭と豚二頭を殺傷されたり其の他昌城郡東面東信洞李鍾浩方は牛を鐵山郡西林面仁水洞沈袞部、鄭應喜方にては豚を拉去殺傷されしより兩名は極力附近の山中を搜索中豺の巣を發見し仔豺二頭を撲殺せり

◉猛虎を射止む

全南光州居住特別狩獵者近藤孝一は去る二十三日梅雨じめじめと降り頻る夜和順郡綾州隱溪を距る四丁許りなる羅州郡に近き地點にて牛一頭を啣へて走る大虎を發見し見事に射止めたるが頭より尾端まで一丈五寸あり稀代の大虎なりと

◉父の金を拐帶
ハイカラ男の家出

福岡縣筑紫郡住吉町平川新治(三七)は六月二十日午後三時頃父の金一千百圓を拐帶して行衞不明となれり同人は頗る虛榮心強き男にて風采等もなか〳〵華美を極め居り家出の際は伊勢崎銘仙の大名縞單衣に錢色無地の絽の羽織を著流し鉛紗の兵兒帶を締め霜降の夏インバに麥稈帽子金縁の眼鏡といふ扮裝にて朝鮮に渡りたる形跡あるより實父より同人の取押へ方を朝鮮の各隊署に願ひ出でたり而して同人は到る處一流旅館ならでは泊らぬといふ代者なりと

◉珍らしい梅雨期の烈風
一坪に五斗の雨

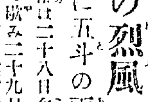
二十七日夜來の雨は二十八日午後六時前後に至つて歇み二十九日は朝來梅雨空重々しく且つ雨の烈風が吹いた京城測候所について訊くと『二十九日は滿洲方面に可なり深厚な低氣壓が現はれ高氣壓は釜山から九州方面を占めてゐたが双方の氣壓の差が急峻だつたので終日烈風が吹いた風速は一秒時間に十米突梅雨期としては稍々珍らしい方である』との話し尚二十八日の雨量は二十八耗だとあるから一坪にザッと五斗強の雨が降つた譯である

◉組合教會前進運動

日本組合基督教會にては三年繼續に前進運動を企劃し既に内地各地方に於て開始し本部よりそれ〴〵

◆應援教師 を派遣し盛に運動中なるが鮮滿部會も六月廿六日より約一箇月の豫定にて[illegible]より[illegible]の諸氏來鮮する事となり[illegible]日本人教會及び鮮人傳道部にては[illegible]五日の豫定を以て左の會合を開催すべし

◆京城教會 六月卅日(日)午前十時南米倉町京城教會にて[illegible]七月一日(月)午後一時[illegible]教會にて[illegible]七月二日午後一時半同所にて婦人講演會[illegible]七月三日午後八時京城教會にて大演說會[illegible]七月四日夜八時半より大演說會[illegible]



▲大正館 二十八日より[illegible]

▲黄金館 二十八日より全部新寫眞と差替へたるが[illegible]

▲壽座 [illegible]

江上の流燈・沙上の篝火！

七月十三日土曜日（雨天順延）夜八時より例年の通り龍山漢江人道橋を中心として朝鮮昔時の雅遊たる

漢江觀火大會

を開催す清流に輝き渡る數千の流燈滿天を花と飾る數百發の煙火沙上紅蓮を吐く幾百の篝火！

滿空を繚爛花と飾る煙火

主催　京城日報社　每日申報社

當所店前裝飾は京城最初の試み是非御來觀あれ

餘興（李王家音樂隊、藝妓手踊、寶探し景品澤山、其他いろ〳〵）

運輸日報拾週年記念　螢狩大會　七月六日土曜午後四時より

會場　東大門外清凉里（電車終點より二町）

當所にて金壹圓以上買物された方に螢狩招待券を呈す（當日何處からでも電車往復無賃）

本町二丁目　電話一三三四番　運輸日報代理部　名古屋物産販賣所

都山流　尺八指南

入門者募集　出張稽古開始

京城南山町二丁目　直門　佐藤都令

移轉廣告

今般左記へ新築七月一日より移轉營業仕候間倍舊御引立願上候

平壤若松町壹番地（停車場通り鐵道紀念碑前）

明治鑛業株式合資會社　安州炭礦平壤出張所　電長六一六番

易斷

高島易斷本部主事高島香明先生出張

受付所　午前八時より十一時まで午後三時より十時まで　京城旭町一丁目日ノ出湯前（電話二五七二）

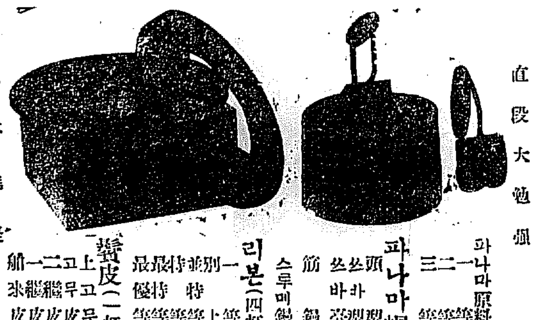
神易協會　高島易斷本部

帽子에原料附屬品과機械類를總司完備宣商店은

大阪市　江楮商店　高麗橋

파나마帽子木型及鏝之圖

直段大勉强　見本進呈



파나마原料（帽子一個分）　一等　二十一錢　二等　十九錢　三等　十八錢

파나마帽子木型　頭型　二十五錢　丛바型　八十錢　丛바盃型　三十錢　筋鏝　大一圓五十錢　小一圓五十錢　스루미鏝　七十五錢

리본（四打分一卷）　一等　二圓四十錢　別上等　二圓　並特等　三圓二十錢　特等　三圓五十錢　最特等　四圓五十錢　最優等　五圓二十五錢

鬚皮（一打）　上고무皮　五十五錢　고무皮　八十錢　二繼皮　一圓六十五錢　一繼皮　一圓八十錢　船來皮　三圓五十錢

內科　呼吸器病　腸胃病　小兒科　婦人病

京城若草町大通り　今村醫院　電話一八三二番

專賣特許出願中

新製　毛綿

▲普通綿の蒲團に比し毛綿蒲團は輕くて寢心地よく保温力に富み價格も亦低廉なり

京城青葉町（電話一六五番）　朝鮮製綿株式會社

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）

酒井婦人病院　院長　酒井一郎

電話　一八番　二六〇番

妻の心（二十三）

小林蹴月作　武内桂舟畫

（五）の三

實を云へば、久三郎は、禮子の其の涙とその顏色とが甚だ嫌ひなのであつた。泣くほど悲しいとも思はれない事件でも、直に瀧の如く涙を零したり、顏の色を眞蒼に變へたりするのが、如何にも仰山らしくもあり、又或る意味の壓迫手段でもあるかのやうに思はれてならぬのであつた。尤も、涙は女の武器とさへ云ふ位であるから、男よりも涙の源泉が深いのであらうが、それでも、自分の妾の如く涙の多い女は、澤山あるものではないと思つた。殊に近來に於て、益々それが甚だしくなるばかりなので、久三郎は、常に陰鬱なるじめじめとした涙の大盥に身を浸されてゐるやうな氣がしてならない。彼が浮氣三昧も、一つは眞個其處に原因して居るのも明かであつた。

『は、は、は又してもお前は、乃公が弊養子云々と云つた語を、酷く氣に懸け出したやうだが、然う云はるゝのが、厭なら、何故明晰まに打明けんのだね。』

『でも、貴郎は、妾が斯程までに妻たる道を守つて居りますのを、何の彼のとお疑ひ遊ばせばこそ、夜泊り日泊りを遊ばす上に、ともすると、只今のやうな自暴自棄の語をお吐きになるでは御座いませんか。妾が何時貴郎に對して、犂も養子らしい侮蔑の擧動を致したり申したりした事が御座いますでせう。』

斯う云つた禮子の唇は、涙と共にわなゝき顫へた。胸の鼓動もいや烈しくなりまさつた。

『だから、それを云ふぢやない。心配の事情を打明けなさいと云つとるんだ。』と久三郎も、稍激怒的の聲を强める。

『打明けます。』と、禮子は、切迫詰つたやうに、聲と呼吸をはづませ、

『……妾……貴郎の遊ばす事は何一つ不平や不滿は申しませんで御座いますから、出來ます事ならば、今後は情願……外泊丈は、お止め遊ばして下さい。その事さへ御座いませんければ隱居所に居ります樣は素よりの事、妾の心配事も、綺麗に離れて忘れらるゝ事と存じて居りますので御座います。旦那樣……此れ以上には、妾の貴郎にお打明けする事も、お願ひ致す事も、絶對に御座いませんので……。』

若龍の問題も、妾宅の秘密も、一言一句おくびの先へも出さずに、禮子は、單に家庭の平和と圓滿とを希圖するのが、最先の目的なのである。

『何事かと思へば、それ丈の話かでは、乃公が消滅する事さへなければ、お前の病氣は立地に恢復すると云ふんだね。』

『その事さへ御座いませんければ必ず……。』

『そりや容易い事……と云ひたいが、禮子、お前は世間の事情も辨へずに、體好く乃公の身體を束縛しやうと云ふもんだよ。』

『ねッ、何と被仰るんや御座います、妾が什うして貴郎のお身體を束縛致すなんて……。』

『お前の眞意は、束縛する了簡ぢやないかも知らんが、自然の結果が然うなるから已むを得んさ。』

『そりや又、什うした理由で御座いませう。』

『分らんかね、分らんきや、云つて聞かすけれども、片手には政治界の事に關はり、片手には、實業界の連中と關聯して、朝から晩まで眼の廻るやうな繁忙を極めとる乃公の身體は、お前も大抵承知して居るだらう。事情と場合に依ては待合の奥座敷で夜明の三時四時まで、密議を凝らしても、それでもまだ決定しない時もあらう。又新會社の創立など云ふ時には、三日四日全力を擧げて東走西奔しても追付かぬと云ふやうな事實は月の内に一度か二度は、必ず持上つて來るんだから、それを今、お前と此處で堅い誓約をして見た所で、後日になつてから有名無實に歸さうと云ふもんだよ。は、は、は、平たく云うて見りや先づそんなもんぢやないか、ね禮子。』

法科で鍛へた腕前丈あつて、拔道の巧い事も又尋常一樣でないのである。それを聞き了つた禮子の胸には、卒倒でも爲はせぬかと思はるゝ程、失望と落膽の影が漾ふ

風鈴 ―五の日十の日會―

○風鈴が鳴る白地著て客を見る目を上げ　浮碧樓

○夜蛇を打ち風鈴に風ある　鳥堂

……六、二五……

雲（諸君近づく大陸に向つて遊き旅に上らむとす―六月廿日作―）　芳子

○姫百合の花の茜より目をやれば六月の空に白雲の湧く　潮二

○白雲の湧く日はわきて君がゆく旅にさやりのあらじとぞ祈る

○若物主すさ物予室に佇めば肉も車も予切れ去ぶ

○まあしのいさ早ければ旅にして君の心のたゞならぬかな　素月

○夕空にたなびく雲の赤かければ明日はたたむさいさいけるかも

○天空のむかふすかぎりわが希望常に身をなげ放たむとするか　不染

佇めば佇むところ自然の氣ゆく音につゞかまほしさ

新刊紹介（到着順）

▲法治國（六月號）十錢（東京々橋區新肴町一東京法律事務所）

▲人格と幸福（六ノ六）七錢（京都市寺町高賣町小路　明治修養所）

▲聖婆伽梵歌（高楠文學博士譯）帝大梵語科教科書たる聖婆伽梵歌を和譯したる書にして、全編を倫理、神理、心理の三篇に區分し初篇に於ては人類の使命を說き中篇に於ては自覺の原理を示せる印度哲學の眞髓を穿てる大聖典なり（一圓、東京小石川原町六丙午出版社）

▲露西亞遊記（正親町季董男著）著者の露國遊歷中に於ける見聞を記述したる面白き讀物なり（八十五錢、東京博文館）

▲英一蝶（小山内薰著）英一蝶、小林鐵之丞、男達、幇間、仲藏等の人情を描けるものにして最も讀み易き面白き讀物なり（六十錢、東京逆公園文文社）

▲締木禪史小說（第五集）本集には綺麗なる禪話潮（八千代）と妙なる作者獨特の書き振り…

▲大正回大詩（中島氣崢著）長詩を集めたるもの國正氣歌、神功皇后、刀劍、榮吉、日蓮、…　外職史稿五篇（東京市外東大久保四四七中島氣崢氏發行）

▲講談倶樂部夏季增刊（評判號）何れも一流の大家が心血を注げる大作を掲載し講談に小說に落語に浪花節に大々興味を溢せざるなし此外情話月旦逸話艶話漫談等趣味あるものを網羅せり懸賞募集もあり（四十八錢、東京本郷區駒込講談社）

▲ニコ〳〵（七月號）復活せるニコ〳〵は裝幀内容共に前ニコ〳〵雜誌と同一同型なるも記事の内容は全然一變して多少ずきなる編輯振を示せるも清新なる興趣に富みて高尚なる家庭雜誌となれり（二十五錢、東京牛込早稻田南町二三共社）

▲釘木商報（四四） 作鐵、鋼鐵、銅、錫その他金物類及び金物器具類諸機械類の市況及び相場（一錢、京城本町二釘木藤次郎本店）

▲良民（八の六）五錢、東京麴町平河町五の三六共社

▲天台四教儀講話（塩野寶洋著）天臺四教儀は新羅の高僧諦觀の著にして天臺宗學徒の入門は必ず此の著によるものなり而して此の書は四教儀を親切丁寧に講述したるものなれば大乘佛敎の大意を知らんさ

▲亞細亞大觀（東亞研究會編）總論、支那、西伯利、蒙古中央亞細亞、高加索、亞細亞土耳古、亞剌比亞、ボーマン、波斯、アフガニスタン、印度、ビルマ、暹羅、佛領印度、馬來、東印度、比律賓、南洋諸島等の事情を網羅しさす詳記したるもの亞細亞現勢地圖あり本書を座右に備ゆるときは一目して亞細亞各國の現々に至る狀勢を知ることを得べし（二圓、東京赤坂溜池二一黑龍會）

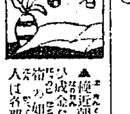
▲大阪陣（福本日南）大阪役に於ける真相を當時諸家の文書、秘錄公私の成史、戰史等によりて印證したるもの著者獨特の理解と明確なる文章を以て大阪陣の起因より諸侯の向背、城中の將士、守城攻城の光景等を詳述したるものなり（一圓三十錢、東京牛込神樂通り南北社）

▲通俗鐵田事業物語（海軍主計大監溝田市次著）著者が鐵田生活の一年間に於ける實際見聞及び感想を趣味ある筆にて記述したるものなり附錄に德川時代の鐵業政策を載す（一圓五十錢、東京牛込神樂町一ノ一東亞堂）

▲株式年鑑（大正七年度）三圓、大阪東區本町二野村商店

▲縮刷朝鮮法規提要（朝鮮法制研究會編）朝鮮關係の法規を網羅したる便利なるポケット入小型の冊子にして製本堅牢なれば使用者の重寶此の上なかるべく附錄に本朝鮮制以來の朝鮮、支那、西伯日本暦對照年表あり本社代理部に申込まるれば直ちに送本すべし（二圓二十錢、京城本町大阪屋號書店本町ッツボ屋書店）

▲探偵雜誌（七月號）探偵情話お藤殺し、銀獅子搜査手踊さしての夢、細田要太郎の親殺し事件、濡つた札の三萬圓、血痕の日和下駄、闇夜の勇士、盜衣裳、無辜の冤罪等例に依り面白き讀物多し（十錢、東京麴町有樂町實業之世界社）

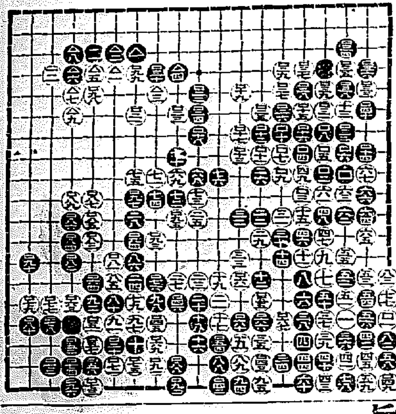


▲極近朝鮮の產繭增大に作ひ成金にうんさして爾後の宿の如く現れたる繭買人は各郡廳の共同販賣を其筋に於ても公平なる仲介を希望す（發繭家）▲軍司令部同職人せんさす部當局者も奸商の言を信ぜず是等繭作は相成候を取締る事を御願ひ致します　悉皆事本年能田に於て大略絶對に首尾克く合格せしが入營後は何處に於て開は何時頃發表に相成者か不明に付ては十二師團司令部へ御知らせ下され度候（或男）▲黃金町四丁目管内にて候（破天荒の一人より）日定番所附近の朝鮮飲食店は屋外の道路側に溢れ流しの汁もの掘取りして居りますが、あれでは夏の衞生上誠に危險でありますから不潔な下水の溜などは御整理なくいの一番に見せしむ上公心に堪へません又同店の煙突は至つて短かく且破れ目は藁を以て包んであるから火の用心に危險であるし煤烟の散亂も甚しい早く改修しては如何ですか（公衆衞生家）▲新渡鮮に答ふ本府文官普通試驗科目は內地の各府縣にて行ふものと大差はありませんが鮮語丈は餘分にあります試驗期日は本府の必用に應じ三年に一度位八九月頃に行ひます又試驗科目は中等の行政法の如きは主として朝鮮現行法に依り出題されますから其の御積りにて御勉強なさい併し內地に於ても普通文官任用の資格ある者に對しては毎年春、秋二期判任見習試驗が施行されます（ユエス生）

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛版　最も熟練せる技術を以て最も迅速と叮寧懇切を旨とし御高需に應ず　京城日報社寫眞製版部

碁戰（完）

（大正七年六月九日於圍碁大會）　四段　齋藤賢德氏　二子　白南圭氏



白十四目勝

全國倉庫成績

百四十萬圓增收

價格の騰貴も亦著しく爲めに全入り平均約三割方の保管料を引上げたるに依り假に平均日步六厘と[illegible]伴ふ營業稅の增加、戰時利得稅關係（戰時利得稅を課せらるゝ倉庫）[illegible]體に於て前年同期は勿論前期に比し更に良好の成績を擧げ得べき豫[illegible]左の如し　事業別　事業數　資本金　[illegible]を示せば左の如し　落成　未成　[illegible]を增加せり尙同月中の新設事業數は八箇所此電氣力二百八十三基を受けたるものは四箇所三千六百二十三基なり　[illegible]

大日本國民中學會

會長　文學博士　尾崎行雄　學監　理學博士　山內繁雄　諸學博士　澁澤榮一　鳩山一郞

顧問　岡田文相　三宅博士　芳賀博士　和田垣博士　新渡戸博士　本多博士

成功の捷徑！

諸君若し成功の捷徑を得んとせば本會に入會せよ本會は創立十有六年會友百六十萬を有する確固たる通信中學校にして會友は全國到る處に活躍しつゝあり

三段式教授法

本會の講義錄は今春一千圓の懸賞を以て募集せし當選最良案に據りて編纂されしものにして所謂三段式教授法とて他に類例なき最新最良の教授法也

短期中學卒業法

本會は中學全科の課程を僅かに一ヶ年半の短時日に完全に修得せしむる通信中學校なり

講義錄見本付會則　申込次第進呈

今や入會の絕好機

各種の特典を以て諸君の入會を待ちつゝあり速に入會せよ！

東京神田駿河臺　大日本國民中學會　振替東京三〇〇二・三〇〇四・電話本局三二〇〇

にきびとり

美顔水

心ある家庭には是非常備せられたき皮膚衞生藥

（一）ニキビ、吹出物――婦人は固より男子にても、ニキビや吹出物の多いのは見よいものでありません、ニキビや吹出物に對しても此藥は頑固なニキビや吹出物を奏しますので信用を博して居ります。

（二）蚤、蚊、南京虫――其他毒のある虫に螫された時、此藥を附けますこ、不愉快な痛さ痒さを覺わず、螫された跡が腫物等になる事がありません。蚤や蚊で夜お子方のムツかる時等此上ない重寶な事がおわかりになります。

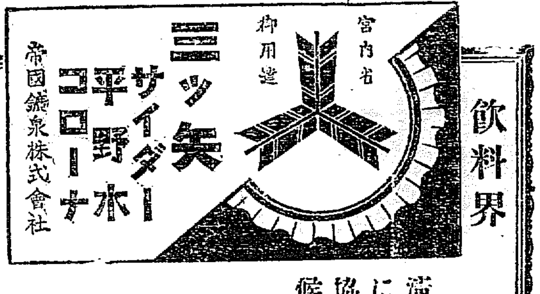
（三）皮膚を美しくす――斯ういふ藥ですから、常用すればニキビ吹出物を防ぐは勿論皮膚は次第に拭はれ磨かれた樣に美しくなり容貌の美を增す力が强いので、此藥は心ある家庭には常備せられて居ります。

（定價特大瓶壹圓・大瓶五拾錢・中瓶廿五錢・小瓶拾貳錢）

發賣元（東京・大阪）桃谷順天館

堅牢無比　パイン「學生號」萬年筆發賣　特價貳圓八十錢也　京城日報代理部

飲料界の覇王



三ッ矢サイダーの活躍

淸涼飲料界の代名詞の如く都鄙到る處に歡迎せらるゝ三ッ矢サイダー本社こ協議の上左記組合を設け在庫品潤澤に候間倍舊御用命被仰付度奉希候

京城三ッ矢サイダー共同販賣組合

組合店　龜屋商店　河野京城出張所　辻本商店　山邑京城支店　藤田商店

假事務所　山邑京城支店內　京城明治町・電話八四九・一四五四・振替京城七五番

日本郵船仁川出帆
○大連行、天津行　相模丸　七月十九日（正午出）　三河丸　七月九日　高砂丸　六月廿九日
仁川本町一丁目　堀回漕部　電話十一番

三菱　共同汽船仁川出帆
大連直行　共同丸　七月四日　午後入港　七月五日　午前出港
朝鮮沿岸要地にて積替仁川大連間定期船特約各港へ積換取扱
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　數口商會
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運公店

汽船　釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行　和歌浦丸　月日　後五時出
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　月日　後五時出
和歌浦丸　月日　後十時出
立神丸　月日　後四時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天草丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　四月　日後六時出
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　四月　日後六時出
釜山港辨天町　本船取扱店　大池回漕部

山縣五十雄　村上唯吉　共著
富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢
京城太平通　振替京城三〇〇番　日報社代理部

京城間自動車著發時刻
一番　二番　上り　一番　二番　三番
[illegible]
織居自動車部金泉支部　金泉停車場前　電話三五番
▲小荷物運搬仕候

大阪商船汽船出帆
仁川出帆　神戶、大阪行　日清丸　六月　日　後五時出
元山出帆　浦汐行　宮島丸　七月一日　後十二時
釜山出帆　下關、宇品、神戶、大阪行　安平丸　六月三十日　後九時出
大連出帆　上海、基隆、打狗行　湖北丸　七月十二日　前六時出　基隆丸　七月廿四日　後四時出
內地各港出帆主要航路
臺灣線　一年四回
南洋線　一年四回
北米線　毎月一回
濠洲線　毎月二回
南米線　毎月二回
歐洲線　毎月一回
郵便（日本海軍特許會社）▲仁川代理店（八ノ五）大阪商船株式會社仁川支店　電話二〇〇番
京城出張所　京城本町一丁目　電話二〇〇番